

2019 年度 環境監視結果年報

2020 年 10 月

中部国際空港株式会社

はじめに

中部国際空港株式会社は、2016(平成 28)年 4 月、「中部国際空港に係る環境監視計画」を改定し、2016 年度よりこれに基づく環境監視を実施している。

本書は、この環境監視計画に定める調査項目である航空機騒音について、2019 年度(2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日)の調査結果を①環境基準値との比較、②推移の 2 つの観点から、それぞれ整理することにより、中部国際空港の供用が周辺地域に与える環境影響の程度を把握し、年報としてとりまとめたものである。

とりまとめにあたっては、中部国際空港株式会社が設置する公正・中立の立場の「中部国際空港の航空機騒音に関する検討委員会」において、科学的、客観的な検討・評価を受けた。

目 次

1. 気象の状況	1
2. 空港の運用状況	3
3. 環境監視結果及び評価	
航空機騒音	8
(1) 航空機騒音の評価指標	8
(2) 環境監視結果	10
ア 常時監視結果	12
イ 定期監視結果	19
(3) 航空機騒音の項目別比較検討	22
ア 環境基準値との比較	22
(ア) 常時監視結果	22
(イ) 定期監視結果	22
イ 推移	27
(ア) 常時監視結果	27
(イ) 定期監視結果	28
(4) 航空機騒音の評価	30

参考資料

1. 気象の状況

(1) 気象観測

名古屋地方気象台、中部航空地方気象台、アメダス南知多観測所の気象観測結果は表 1-1のとおりであり、中部航空地方気象台における風向出現頻度は図 1-1のとおりである。

2019年度の中中部航空地方気象台における最多風向は北西であり、全体の19.8%を占めた。

また、台風は東海地方に5個接近し、8月に第10号、9月に第15号、第17号、10月に第19号がセントレアの運航に影響した。雪、あられ、みぞれ等の降雪は延べ3日あったが、積雪はなかった。

表 1-1 名古屋、セントレア、南知多における気象観測結果

気象要素	地点	2019年										2020年			年間
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
平均風速 (m/s)	名古屋	3.6 (3.3)	3.3 (3.0)	2.9 (2.7)	2.6 (2.7)	3.1 (2.9)	2.8 (2.7)	2.9 (2.6)	2.9 (2.6)	2.8 (2.8)	3.1 (3.1)	3.2 (3.4)	3.3 (3.5)	3.0 (2.9)	
	セントレア	6.0	4.9	4.5	4.2	4.8	4.9	5.8	6.3	6.4	6.4	6.7	5.8	5.6	
	南知多	3.7 (2.4)	2.9 (2.1)	2.6 (1.7)	2.3 (1.6)	2.7 (1.8)	2.7 (1.8)	3.1 (1.9)	3.3 (2.1)	3.2 (2.5)	3.4 (2.7)	3.7 (2.8)	3.4 (2.8)	3.1 (2.2)	
最多風向 (16方位)	名古屋	NW (NNW)	SSE (NNW)	SSE (SSE)	SSE (SSE)	SSE (SSE)	NNW (NNW)	NNW (NNW)	NNW (NNW)	NNW (NNW)	NW (NNW)	NNW (NNW)	NNW (NNW)	NNW (NNW)	
	セントレア	NW	ESE	NW	SE	SE	ESE	NW	NW	NNW	NW	NW	NW	NW	
	南知多	NW (NW)	NW (NW)	ESE (ESE)	ESE (ESE)	S (ESE)	ESE (NW)	NW (NW)	NW (NW)	NW (NW)	NW (NW)	NW (NW)	NW (NW)	NW (NW)	

注1:名古屋は名古屋地方気象台、セントレアは中部航空地方気象台、南知多はアメダス南知多観測所を示す。

注2:平均風速の名古屋、南知多の欄の下端()内の数値は、昭和56年(1981年)～平成22年(2010年)の30年平均値(平年値)である。

注3:最多風向の名古屋の欄の下端()内の数値は、平成2年(1990年)～平成22年(2010年)の21年平均値(準平年値)である。

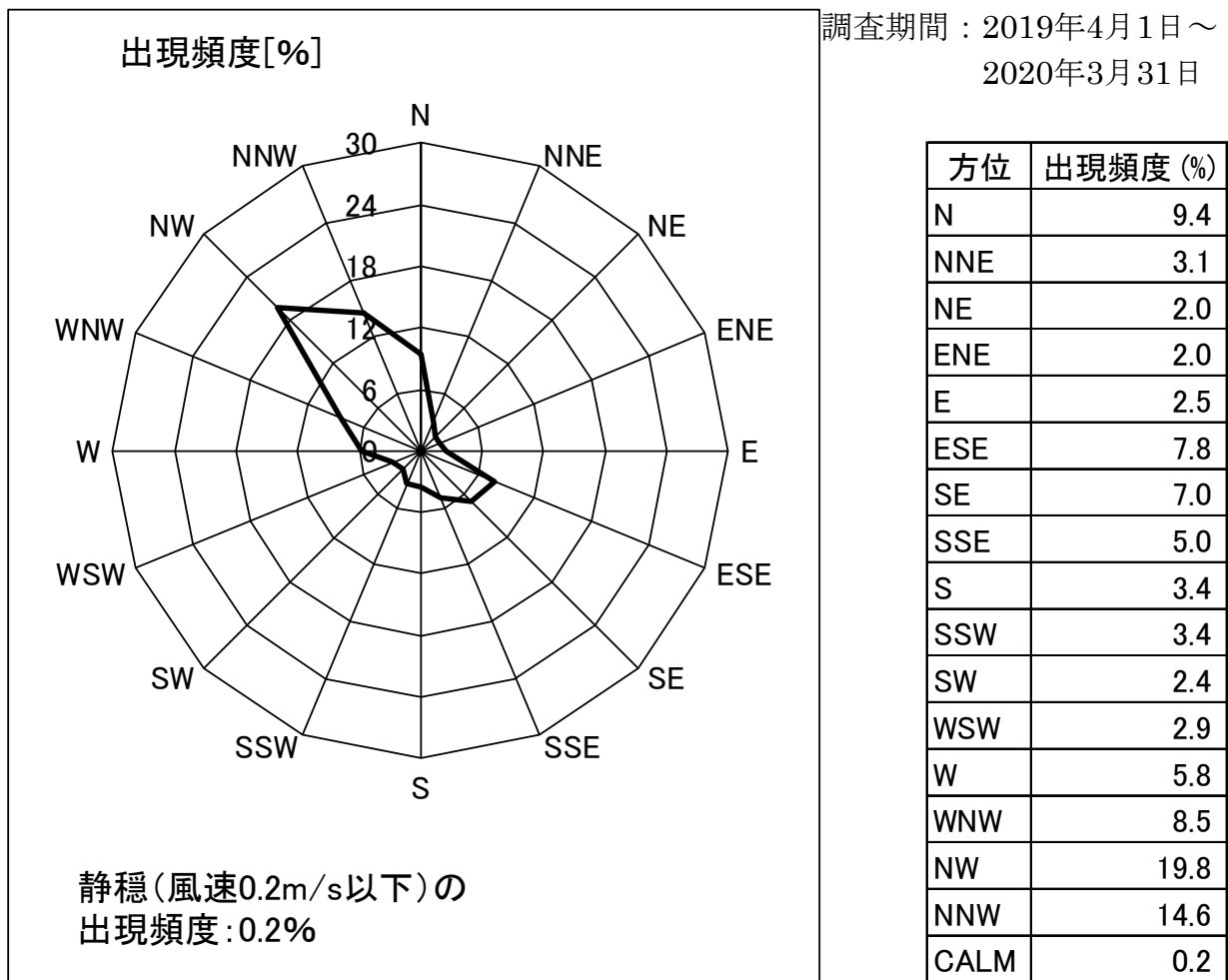
注4:最多風向の南知多の欄の下端()内の数値は、昭和56年(1981年)～平成22年(2010年)の30年平均値(平年値)である。(南知多観測所:2000年11月に移設)

注5:年間の欄の数値は、年間の平均風速及び年間の最多風向である。

出典1. 気象庁ホームページ (<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

2. 「セントレアの気象」(発行:中部航空地方気象台 <http://www.jma-net.go.jp/chubu-airport/>)

図 1-1 中部航空地方気象台における風向出現頻度（風配図）



出典. 気象庁サイトのセントレアの気象データから集計、作成。

2. 中部国際空港の運用状況

2019年4月～2020年3月の中部国際空港の運用実績一覧については、表2-1のとおりである。

中部国際空港における航空年間旅客数、航空年間貨物取扱量、航空機の年間発着回数の開港からの年度別推移は図2-1、図2-2、図2-3のとおりである。

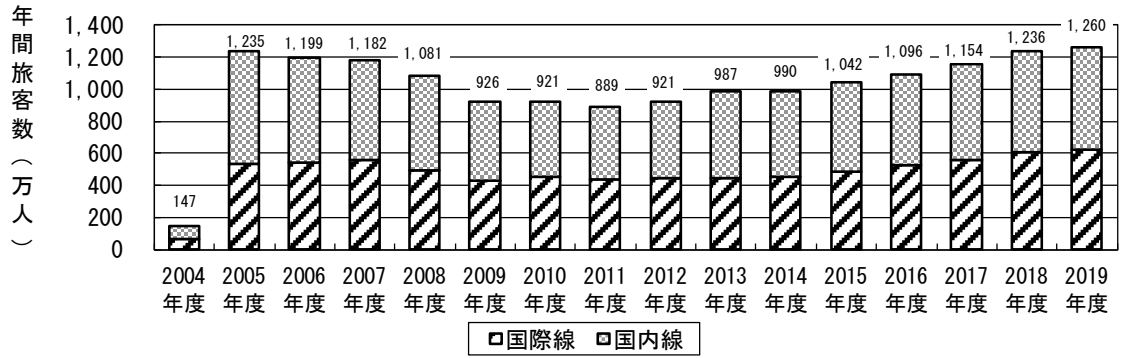
また、航空機発着の月別運用比率は図2-4 およびその年度別推移は図2-5、航空機の最大離陸重量別年度別推移は図2-6、最大離陸重量別の主な航空機材リストは表2-2のとおりである。

航空旅客数及び航空機の発着回数は、国際線、国内線ともに増加し、航空貨物取扱量は国際貨物、国内貨物ともに減少した。

表 2-1 中部国際空港の運用実績一覧

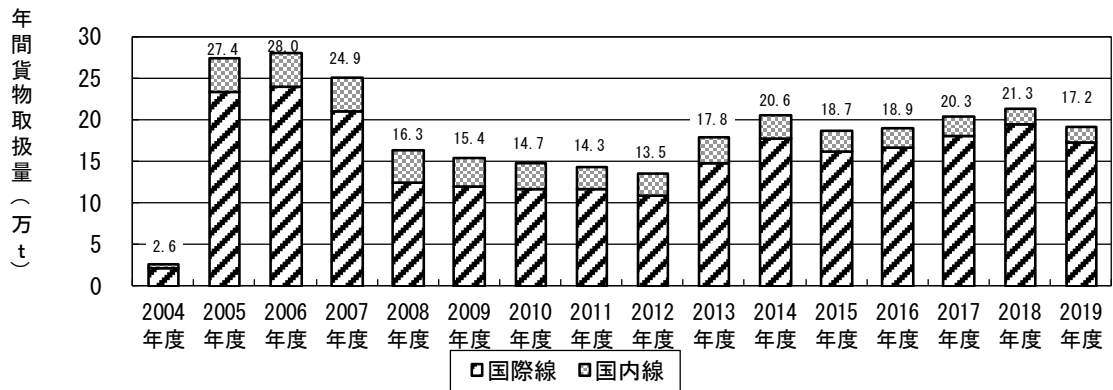
中部国際空港株式会社																
区分	単位	確定値														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	年度計
1. 航空旅客数	人	1,078,290	1,135,793	1,120,617	1,182,832	1,339,103	1,127,292	6,983,927	1,159,633	1,122,875	1,073,677	1,097,606	820,622	342,131	5,616,544	12,600,471
国際線	"	(113)	(116)	(115)	(115)	(112)	(105)	(113)	(111)	(110)	(112)	(114)	(83)	(29)	(91)	(102)
日本人旅客	"	(116)	(122)	(122)	(122)	(123)	(92)	(116)	(114)	(113)	(117)	(120)	(66)	(11)	(88)	(102)
外国人旅客	"	253,560	268,838	264,924	270,378	338,517	280,039	1,676,256	275,231	278,852	268,313	243,197	197,514	42,488	1,305,595	2,981,851
通過客	"	(118)	(126)	(134)	(132)	(138)	(93)	(123)	(120)	(126)	(129)	1,452	430	158	6,420	19,760
国内線	"	(48)	(135)	(34)	(56)	(235)	(38)	(67)	(227)	(248)	(153)	(113)	(17)	(29)	(101)	(75)
2. 航空機発着回数	回	508,358	563,462	539,735	580,860	675,926	592,407	3,460,748	593,872	566,687	509,998	501,831	492,073	277,125	2,941,586	6,402,334
国際線	"	(110)	(111)	(108)	(108)	(104)	(119)	(110)	(109)	(107)	(106)	(107)	(101)	(47)	(95)	(102)
旅客便	"	9,325	9,834	9,576	10,045	10,279	9,695	58,754	9,774	9,643	9,800	10,195	7,842	6,635	53,889	112,643
貨物便	"	(112)	(115)	(116)	(115)	(111)	(115)	(114)	(114)	(114)	(113)	(117)	(96)	(72)	(104)	(109)
その他	"	3,952	4,150	4,140	4,340	4,418	4,097	25,097	4,206	4,293	4,388	4,604	2,694	1,259	21,444	46,541
国内線	"	(122)	(125)	(128)	(132)	(130)	(120)	(126)	(127)	(132)	(128)	(135)	(82)	(35)	(105)	(116)
旅客便	"	3,593	3,802	3,783	3,995	4,037	3,776	22,986	3,757	3,902	4,001	4,235	2,399	874	19,168	42,154
貨物便	"	(125)	(129)	(130)	(133)	(131)	(123)	(128)	(127)	(133)	(129)	(137)	(80)	(26)	(104)	(116)
その他	"	262	269	253	253	256	233	1,526	303	306	288	287	225	309	1,718	3,244
国内線	"	(101)	(97)	(108)	(117)	(114)	(98)	(105)	(114)	(116)	(120)	(124)	(115)	(125)	(119)	(112)
旅客便	"	97	79	104	92	125	88	585	146	85	99	82	70	76	558	1,143
貨物便	"	(105)	(92)	(112)	(142)	(151)	(70)	(107)	(133)	(144)	(97)	(101)	(73)	(110)	(108)	(108)
その他	"	5,373	5,684	5,436	5,705	5,861	5,598	33,657	5,568	5,350	5,412	5,591	5,148	5,376	32,445	66,102
国内線	"	(106)	(108)	(105)	(100)	(100)	(112)	(106)	(106)	(103)	(103)	(106)	(105)	(97)	(103)	(105)
旅客便	"	5,226	5,477	5,223	5,491	5,611	5,332	32,360	5,328	5,120	5,252	5,283	4,960	5,135	31,078	63,438
貨物便	"	(107)	(107)	(107)	(100)	(100)	(112)	(107)	(106)	(103)	(104)	(103)	(105)	(95)	(103)	(105)
3. 国際貨物取扱量	t	14,661	14,715	14,854	14,782	14,452	14,241	87,705	16,970	14,908	14,503	13,249	12,816	12,162	84,608	172,313
積込	"	(93)	(93)	(92)	(94)	(100)	(69)	(89)	(88)	(88)	(91)	(95)	(98)	(74)	(88)	(89)
積込	"	6,913	7,504	7,504	7,104	6,857	6,625	42,208	8,045	6,862	6,873	6,194	6,527	5,596	40,097	82,305
取卸	"	(86)	(82)	(82)	(84)	(88)	(62)	(90)	(82)	(75)	(82)	(86)	(93)	(72)	(81)	(81)
国内貨物取扱量	"	7,456	7,802	7,350	7,678	7,595	7,616	45,497	8,925	8,046	7,630	7,055	6,289	6,566	44,511	90,008
国内貨物取扱量	"	(95)	(105)	(104)	(105)	(114)	(76)	(98)	(94)	(102)	(100)	(104)	(104)	(76)	(96)	(97)
国内貨物取扱量	"	1,424	1,362	1,453	1,604	1,569	1,509	8,921	1,519	1,501	1,796	1,381	1,452	1,455	9,105	18,026
発送	"	(85)	(87)	(97)	(94)	(96)	(111)	(95)	(108)	(101)	(105)	(108)	(112)	(97)	(105)	(99)
到着	"	874	725	859	827	869	885	5,038	911	941	1,139	822	872	808	5,493	10,531
給油量	kl	53,570	53,934	54,443	54,396	56,455	52,173	324,971	55,094	56,088	56,968	57,984	43,261	33,646	303,042	628,013
精内営業売上高	百万円	(114)	(114)	(112)	(111)	(111)	(103)	(111)	(111)	(114)	(112)	(113)	(95)	(65)	(102)	(106)
売店	"	3,551	3,565	3,637	3,753	4,125	3,466	22,097	3,446	3,517	3,649	3,823	1,676	494	16,604	38,701
一般物販店	"	(113)	(115)	(117)	(118)	(120)	(96)	(113)	(106)	(114)	(114)	(129)	(54)	(15)	(88)	(101)
飲食店	"	2,297	2,324	2,381	2,417	2,530	2,166	14,115	2,158	2,187	2,274	2,538	848	130	10,136	24,251
千円	"	(113)	(117)	(118)	(123)	(125)	(88)	(113)	(109)	(120)	(123)	(144)	(43)	(7)	(89)	(102)
千台	"	781	763	777	823	972	771	4,866	787	817	855	781	498	223	3,961	8,847
千台	"	(110)	(106)	(110)	(107)	(108)	(109)	(100)	(100)	(105)	(103)	(107)	(75)	(28)	(86)	(97)
千台	"	474	479	480	513	623	528	3,096	501	513	519	504	330	140	2,507	5,603
千台	"	(123)	(120)	(121)	(117)	(122)	(124)	(124)	(103)	(105)	(102)	(108)	(73)	(26)	(86)	(102)
千台	"	1,219	1,223	1,219	1,303	1,562	1,339	7,864	1,401	1,346	1,377	1,313	968	498	6,905	14,768
千台	"	(124)	(126)	(126)	(126)	(128)	(124)	(126)	(115)	(110)	(112)	(115)	(68)	(37)	(95)	(109)
千台	"	120	125	131	143	180	140	838	139	126	139	127	100	57	689	1,527
千台	"	(111)	(111)	(109)	(109)	(121)	(112)	(112)	(104)	(98)	(105)	(103)	(83)	(38)	(87)	(99)

注1 ()内数値は対前年同月比。
 注2 国際貨物取扱量は名古屋税関中部空港税関支署発表のもの。
 注3 集計差は端数処理の誤差。
 注4 一般物販店および飲食店は取扱表記。



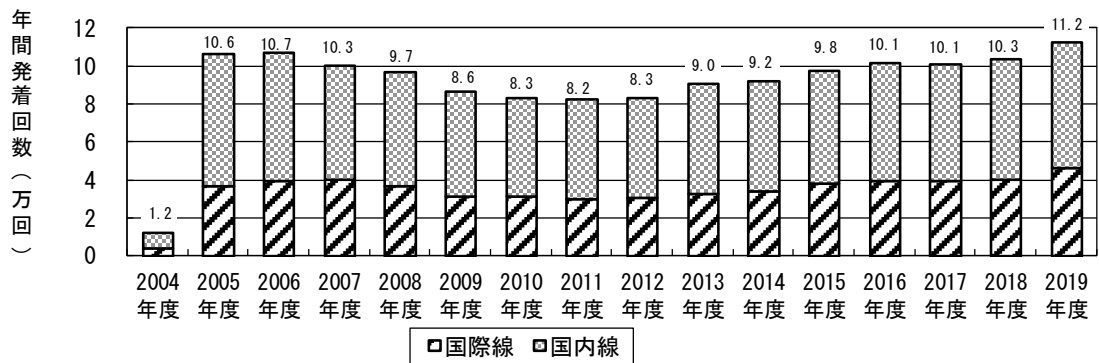
注1：2004年度の空港運用日数は、43日間（2005年2月17日～3月31日）である。
 注2：グラフ中の数字は国際線、国内線の合計値を示す。

図 2-1 航空年間旅客数の推移



注1：2004年度の空港運用日数は、43日間（2005年2月17日～3月31日）である。
 注2：グラフ中の数字は国際線、国内線の合計値を示す。

図 2-2 航空年間貨物取扱量の推移



注1：2004年度の空港運用日数は、43日間（2005年2月17日～3月31日）である。
 注2：グラフ中の数字は国際線、国内線の合計値を示す。

図 2-3 航空機の年間発着回数の推移

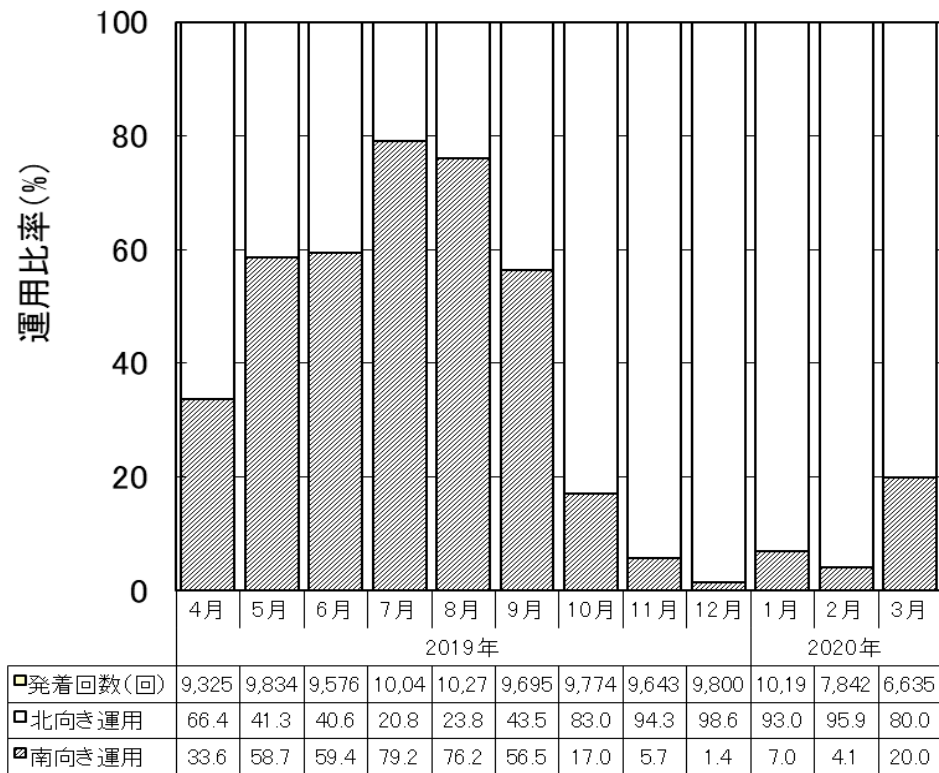
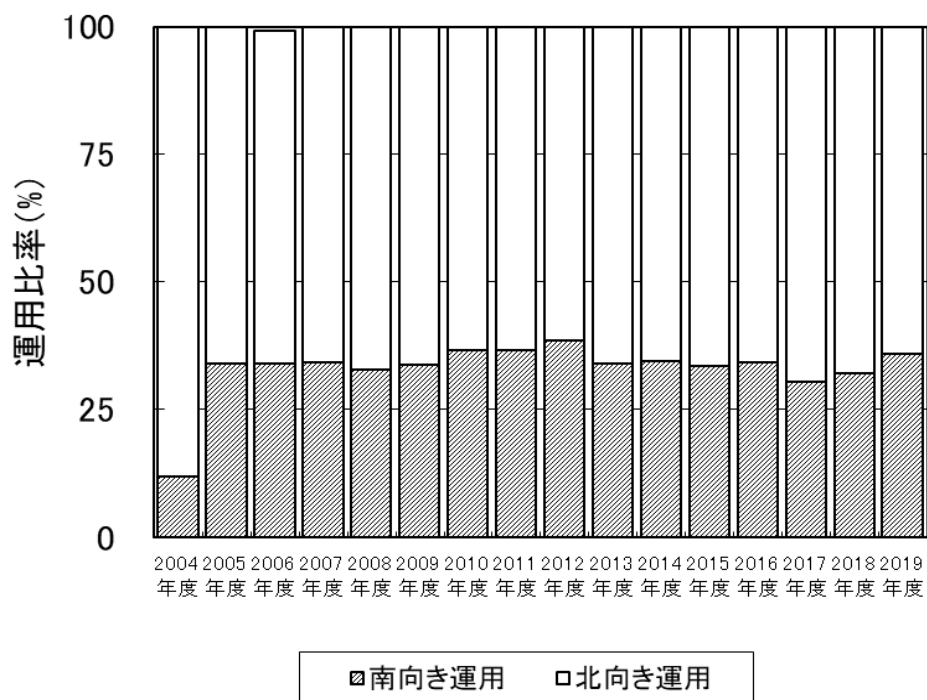


図 2-4 航空機発着の月別運用比率



注： 2004年度は2月17日～3月31日の運用比率であり、参考として示した。

図 2-5 航空機発着の運用比率の年度別推移

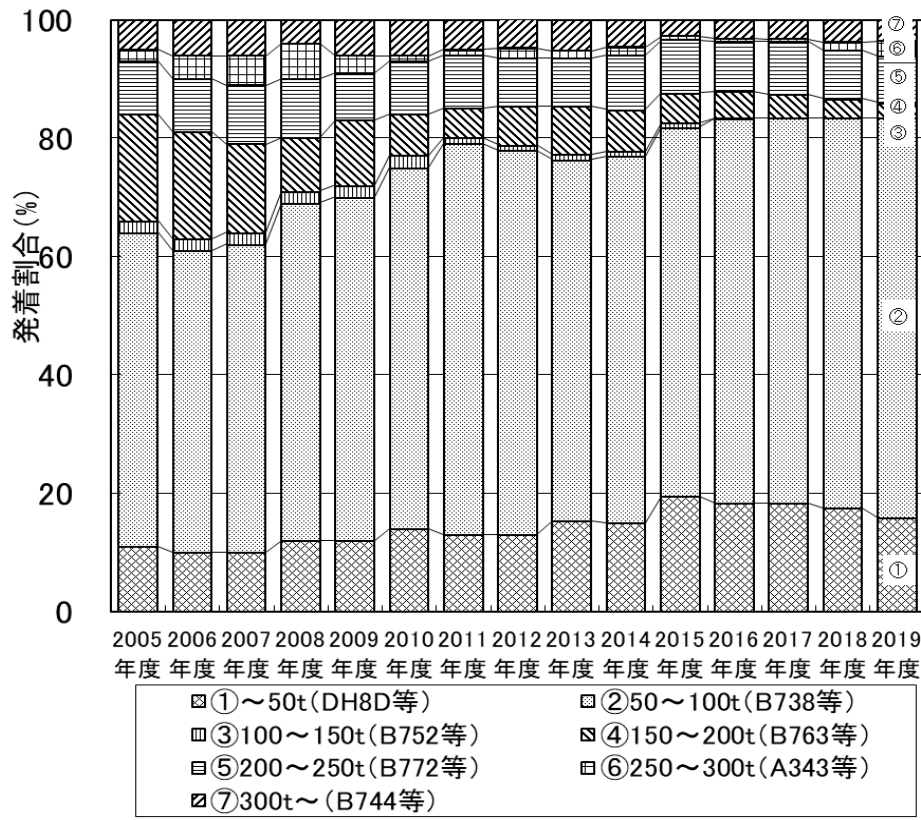


図 2-6 航空機の最大離陸重量別年度別推移

表 2-2 最大離陸重量別の主な航空機材リスト

最大離陸重量	機 材
⑦. 300t~	ボーイング747-400
	ボーイング747-8
	ボーイング747-LCF
	ボーイング777-300/300ER
	エアバスA340-600
	エアバスA350-1000
	エアバスA380-800
	アントノフAn-124
⑥. 250~300 t	エアバスA340-300
	エアバスA350-900
	ボーイング777-200ER
⑤. 200~250 t	エアバスA330-200
	エアバスA330-300
	ボーイング777-200
	ボーイング787-8、9、10
④. 150~200 t	エアバスA300-600/600R
	ボーイング767-300/300ER
③. 100~150 t	ボーイング757-200
②. 50~100 t	エアバスA319、A320、A321
	エアバスA320neo、A321neo
	エアバスA220
	ボーイング737-400、500
	ボーイング737-700、800、900
	ボーイング737MAX8、MAX9
①. ~50 t	ボンバルディアDHC-8
	ボンバルディアCRJ-200、700
	サープ2000
	セスナ525C
	アグスタ ウェストランド139
	ベル412

3. 環境監視結果及び評価

航空機騒音

(1) 航空機騒音の評価指標

環境省の航空機騒音測定・評価マニュアル（以下「マニュアル」という。）に基づき、2013(平成25)年度から Lden（時間帯補正等価騒音レベル）（※1）により評価を行った。ただし、開港時からの推移を考慮し、2012年度までの旧評価指標である WECPNL(※2)を参考として示す。

なお、航空機騒音の評価指標が WECPNL から Lden に変更されたことに対応するために、2011年度に Lden 及び WECPNL を算出できる航空機騒音監視システムに改修し、2012年度から運用を開始している。

※1 Lden（時間帯補正等価騒音レベル）

1日の間に観測された航空機騒音の単発騒音暴露レベル（ L_{AE} ）を時間帯別に補正（午後7時から午後10時まではプラス5デシベル、午後10時から翌日午前7時まではプラス10デシベル）した後にエネルギー加算し、観測時間（1日＝86,400秒）で平均してレベル表示した値。単位はデシベル[dB]。

一般の騒音の大きさを表す騒音レベルとは異なる。

算式1

$$L_{den} = 10 \log_{10} \left\{ \frac{T_0}{T} \left(\sum_i 10^{\frac{L_{AE,di}}{10}} + \sum_j 10^{\frac{L_{AE,ej}+5}{10}} + \sum_k 10^{\frac{L_{AE,nk}+10}{10}} \right) \right\}$$

(注) $L_{AE,di}$: 午前7時から午後7時までの時間帯におけるi番目の L_{AE}

$L_{AE,ej}$: 午後7時から午後10時の時間帯におけるj番目の L_{AE}

$L_{AE,nk}$: 午後10時から午前7時の時間帯におけるk番目の L_{AE}

T_0 : 規準化時間（1秒）

T : 観測1日の時間（86,400秒＝60秒×60分×24時間）

関係する用語

ピークレベル:航空機の騒音が発生するごとに観測される最大騒音レベルのこと。単位はデシベル[dB]。

L_{AE} : 航空機1機が発生する騒音のエネルギー量。単位はデシベル[dB]。単発騒音暴露レベルと言う。

L_{Aeq} : 時間帯ごとで算出している平均等価騒音レベル。単位はデシベル[dB]。

※2 WECPNL

WECPNL とは、加重等価平均感覚騒音レベル (Weighted Equivalent Continuous Perceived Noise Level) のことで、1973(昭和 48)年から 2012(平成 24)年度まで航空機騒音の評価指標として採用された。

19 時から 22 時まで発生した騒音の評価には、1 機騒音が発生したら 3 機分の重みを、22 時から翌日 7 時まで発生した騒音の評価には、10 機分の重みを付けている。単位はない。

算式 2

$$\text{WECPNL} = \overline{\text{dB(A)}} + 10 \log_{10} N - 27$$

$$N = N_2 + 3N_3 + 10(N_1 + N_4)$$

(注) $\overline{\text{dB(A)}}$: 航空機騒音が暗騒音より 10dB 以上大きい騒音のピークレベルを 1 日のすべてについてパワー平均したもの。

N_1 : 0 時～7 時までに測定された機数

N_2 : 7 時～19 時までに測定された機数

N_3 : 19 時～22 時までに測定された機数

N_4 : 22 時～24 時までに測定された機数

(「測定された機数」とは、暗騒音より 10dB 以上高い騒音を測定した機数を指す。)

(2) 環境監視結果

航空機騒音の調査期間及び調査地点は表 3-1のとおりである。

常時監視は、開港時から常滑市、美浜町、弥富市、木曾岬町の 4 市町において行っている。常滑市は鬼崎中学校、美浜町は、野間（ちびっこ広場）、弥富市は、大藤小学校にて 2005 年から、木曾岬町は東部公民館にて 2007 年から行っている。

また、本年度の定期監視は、夏期は 2019 年 6 月 22 日～28 日に 7 地点で、冬期は 2020 年 2 月 22 日～28 日に 3 地点で行った。航空機騒音の調査地点の位置は、図 3-1 のとおりである。

表 3-1 調査期間及び調査地点

項目		調査期間	調査地点
常時監視		2019 年 4 月 1 日 ～ 2020 年 3 月 31 日(注 4)	4 地点
定期監視 (注 1)	夏期	2019 年 6 月 22 日 ～ 2019 年 6 月 28 日	7 地点
	冬期	2020 年 2 月 22 日 ～ 2020 年 2 月 28 日	3 地点

常時監視地点(注 2)	
①	常滑市立鬼崎中学校(注 3)
②	美浜町野間(ちびっこ広場)
③	弥富市立大藤小学校
④	木曾岬町東部公民館

定期監視地点(注 2)		調査時期
T1	常滑市立常滑西小学校	夏期・冬期
T2	南知多町町民会館	冬期
A1	愛西市役所	夏期
A2	弥富市立十四山西部小学校	夏期
A3	弥富市鍋田公民館	夏期
M1	桑名市大山田地区市民センター	夏期
M2	木曾岬町農村集落多目的共同利用施設	夏期
M3	四日市市海蔵地区市民センター	夏期
M4	伊勢市神社みなとまち館	冬期

注 1：定期監視は各調査地点について 7 日間連続で測定を実施。

注 2：①～④及び T1～M4 は次ページの図 3-1 の地点番号に対応。

注 3：校舎改修工事のため、2018 年 8 月 9 日～2019 年 5 月 29 日は常滑市立鬼崎西保育園で測定を実施。

注 4：測定機器の再設置工事のため、2019 年 5 月 30 日～2019 年 5 月 31 日は欠測。

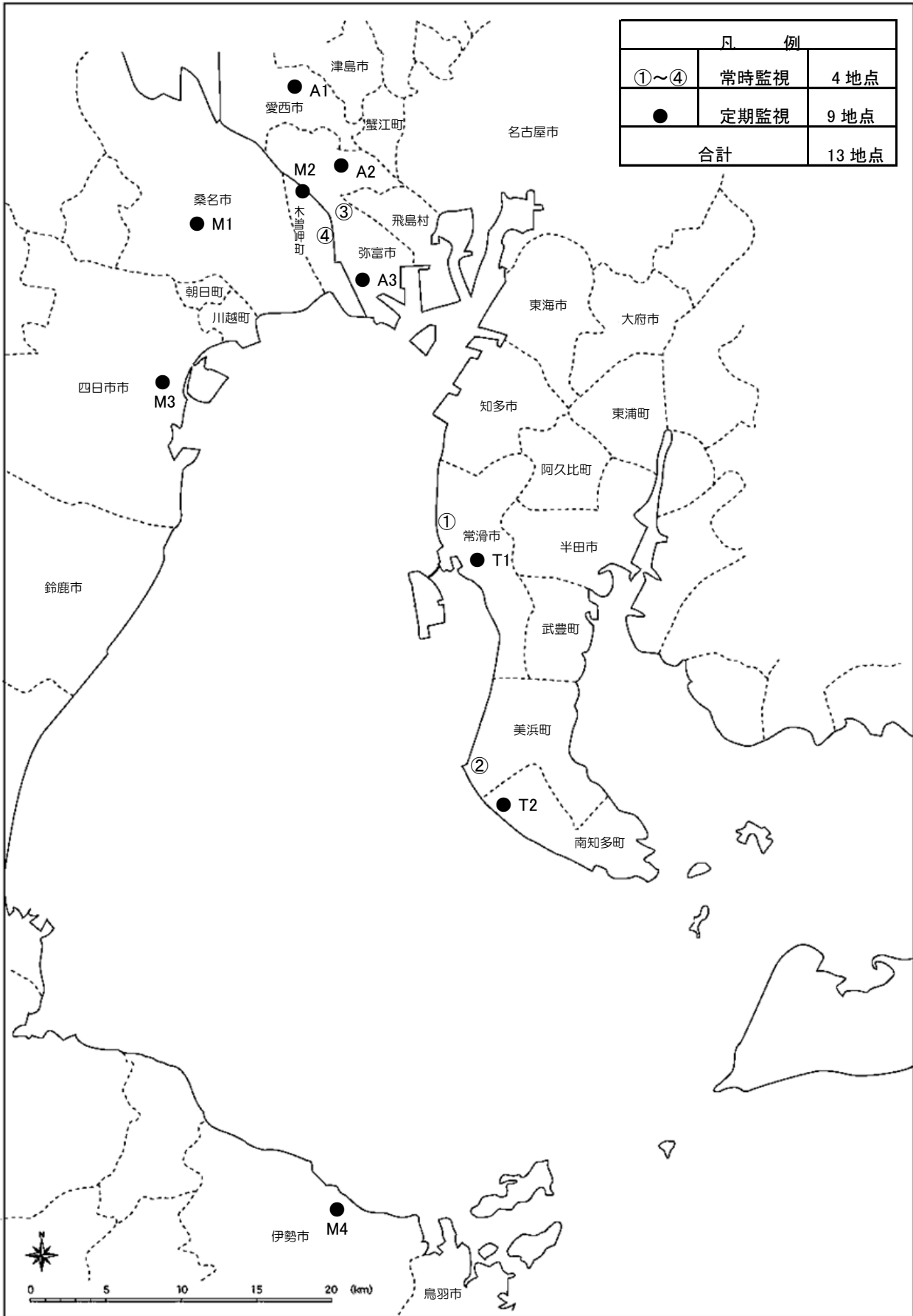


図 3-1 航空機騒音の調査地点（常時監視及び定期監視）

ア 常時監視結果

常滑市立鬼崎中学校、美浜町野間（ちびっこ広場）、弥富市立大藤小学校及び木曾岬町東部公民館における環境監視結果は、表 3-2(1)～(4)のとおりである。

年間の **Lden** は、常滑市立鬼崎中学校では 43dB、美浜町野間（ちびっこ広場）では 44dB、弥富市立大藤小学校では 45dB、木曾岬町東部公民館では 45dB であった。

各調査地点における月別の **Lden** 及び測定された機数は図 3-2 のとおりである。なお、「測定された機数」とは、暗騒音より 10dB 以上高い騒音を測定した機数であり、実際に飛行した航空機数とは異なる。（環境省の航空機騒音測定・評価マニュアル）

月間の **Lden** は、常滑市立鬼崎中学校では年間を通して 41dB～45dB、美浜町野間（ちびっこ広場）では年間を通して 41dB～45dB であった。これらに対し、弥富市立大藤小学校では 4月～10月が 43dB～48dB、11月～3月は 35dB～41dB、木曾岬町東部公民館では 4月～10月が 44dB～48dB、11月～3月は 36dB～42dB であった。

月別の測定された機数は、常滑市立鬼崎中学校では 6月と 10月～3月は 2,400～3,600 機台と多く、中でも 1月が 3,637 機と最も多かった。4月～5月と 7月～9月は 1,500 機台～2,000 機台と少なく、欠測日もあり 5月が 1,587 機と最も少なかった。

美浜町野間（ちびっこ広場）では 4月～6月と 10月～3月は 1,600～3,500 機台と多く、中でも 1月が 3,514 機と最も多かった。7月～9月は 400～1,100 機台と少なく、中でも 8月が 467 機と最も少なかった。

弥富市立大藤小学校では 4月～10月は 1,000～3,500 機台と多く、中でも 8月が 3,565 機と最も多かった。11月～3月は 300～600 機台と少なく、中でも 12月が 326 機と最も少なかった。

木曾岬町東部公民館では 4月～10月は 1,000～3,400 機台と多く、中でも 8月が 3,436 機と最も多かった。11月～3月は 300～500 機台と少なく、中でも 12月が 308 機と最も少なかった。

年間機数は、常滑市立鬼崎中学校で最も多く、次いで美浜町野間（ちびっこ広場）、弥富市立大藤小学校、木曾岬町東部公民館の順で、常滑市立鬼崎中学校が 29,000 機程度であり、美浜町野間（ちびっこ広場）は 25,000 機程度、弥富市立大藤小学校、木曾岬町東部公民館はともに 19,000 機程度であった。

なお、各調査地点の測定機数は、基本的に航空機が風上に向かって離着陸する滑走路運用方式をとることから、空港島周辺の風向きに大きな影響を受ける。また、空港近傍では離陸便、着陸便の両方が測定されるが、空港から離れた地域では離陸便の高度が着陸便に対して高くなることから、着陸便が多く測定される。

こうしたことから、北風が吹く冬場は空港島の近くにある常滑市立鬼崎中学校では滑走路が“北向き運用”の離陸便が多く測定され、南側にある美浜町野間（ちびっこ広場）では、“北向き運用”の着陸便が多く測定される。

一方、南風が吹く夏場は、空港島の北側にある弥富市立大藤小学校と木曾岬町東部

公民館では滑走路が“南向き運用”の着陸便が多く測定される。従って、月間のLdenは、常滑市立鬼崎中学校と、美浜町野間(ちびっこ広場)では冬場に高く、弥富市立大藤小学校と木曾岬町東部公民館では夏場が高い傾向にあるものと考えられる。

各調査地点における最大離陸重量別の測定された機数は、図 3-3 のとおりである。また、最大離陸重量別の主な航空機材リストは表 3-3 のとおりである。

最大離陸重量別に各調査地点において測定された機数は、4 地点とも 50～100t (ボーイング 737、エアバス 320 等) の機材が最も多く、次いで常滑市立鬼崎中学校では、200～250t (エアバス 330、ボーイング 787 等) の機材が多く、美浜町野間(ちびっこ広場)、弥富市立大藤小学校と木曾岬町東部公民館では 50t 以下(ボンバルディア DHC-8、CRJ 等)の機材が多かった。

年間のピークレベルの度数分布は、表 3-4 のとおりである。

常滑市立鬼崎中学校では、測定された機数が最も多いピークレベルの範囲は 55～60dB (測定された機数の年間合計に占める割合 49.0%) であり、70dB 以上の機数の割合は 0.5%であった。

美浜町野間 (ちびっこ広場) では、測定された機数が最も多いピークレベルの範囲は 55～60dB (同 59.7%) であり、70dB 以上の機数の割合は 0.5%であった。

弥富市立大藤小学校では、測定された機数が最も多いピークレベルの範囲は 60～65dB (同 56.2%) であり、70dB 以上の機数の割合は 1.0%であった。

木曾岬町東部公民館では、測定された機数が最も多いピークレベルの範囲は 60～65dB (同 61.5%) であり、70dB 以上の機数の割合は 0.9%であった。

表 3-2(1) 航空機騒音調査結果 (①常滑市立鬼崎中学校) (注3)

年月	測定日数(日)	L_{den} (dB)	測定された機数 (機) (注1)						時間帯別 L_{Aeq} (dB)			(参考)	
			0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 24:00	月間 合計	日平均	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 7:00	WECPNL	ピークレベルの パラー 平均値 (dB)
2019年 4月	30	43	152	1,300	367	91	1,910	64	41	40	34	55	60
5月(注2)	29	42	189	906	378	114	1,587	55	39	40	34	55	60
6月	30	44	255	1,525	542	144	2,466	82	41	41	35	56	60
7月	31	42	211	752	502	134	1,599	52	39	41	33	55	59
8月	31	42	203	889	475	161	1,728	56	39	40	34	56	60
9月	30	41	191	1,477	344	75	2,087	70	40	38	32	54	59
10月	31	44	206	2,117	414	90	2,827	91	42	41	34	56	60
11月	30	44	197	2,542	465	70	3,274	109	43	42	34	57	60
12月	31	45	185	2,651	465	89	3,390	109	44	42	35	57	61
2020年 1月	31	45	165	2,943	444	85	3,637	117	44	42	34	57	61
2月	29	44	120	2,168	320	31	2,639	91	43	41	33	56	61
3月	31	44	190	1,661	397	68	2,316	75	41	41	36	56	60
年間値	364	43	2,264	20,931	5,113	1,152	29,460	81	42	41	34	56	60

注1: 「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

注2: 5月30日(木)~5月31日(金)までの2日間は、測定機器の再設置工事のため欠測。

注3: 校舎改修工事のため2018年8月9日~2019年5月29日の期間は常滑市立鬼崎西保育園で測定。

表 3-2(2) 航空機騒音調査結果 (②美浜町野間(ちびっこ広場))

年月	測定日数(日)	L_{den} (dB)	測定された機数 (機) (注1)						時間帯別 L_{Aeq} (dB)			(参考)	
			0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 24:00	月間 合計	日平均	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 7:00	WECPNL	ピークレベルの パラー 平均値 (dB)
2019年 4月	30	44	123	1,205	572	107	2,007	67	40	42	35	55	60
5月	31	43	128	1,001	427	84	1,640	53	40	41	35	54	60
6月	30	43	125	982	468	106	1,681	56	39	41	35	54	59
7月	31	42	97	601	249	88	1,035	33	37	40	34	54	60
8月	31	41	105	169	114	79	467	15	35	36	35	53	61
9月	30	41	66	1,049	30	18	1,163	39	39	34	33	51	59
10月	31	44	110	1,688	705	127	2,630	85	41	43	35	55	59
11月	30	45	136	2,011	847	151	3,145	105	42	44	36	56	59
12月	31	45	131	2,112	901	174	3,318	107	42	44	36	56	59
2020年 1月	31	45	132	2,277	916	189	3,514	113	42	44	36	57	59
2月	29	45	110	1,624	673	158	2,565	88	41	43	36	56	59
3月	31	44	103	1,146	455	112	1,816	59	40	41	35	55	60
年間値	366	44	1,366	15,865	6,357	1,393	24,981	68	40	42	35	55	59

注1: 「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

表 3-2 (3) 航空機騒音調査結果 (③弥富市立大藤小学校)

年 月	測定 日数 (日)	L_{den} (dB)	測定された機数 (機) (注1)							時間帯別 L_{Aeq} (dB)			(参考)	
			0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 24:00	月間 合計	日平均	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 7:00	WECPNL	ヒールレベルの パワー 平均値 (dB)	
2019年 4月	30	46	5	1,225	331	14	1,575	53	45	46	30	57	65	
5月	31	48	8	1,818	604	40	2,470	80	47	48	34	59	64	
6月	30	47	4	1,796	627	51	2,478	83	46	48	33	58	64	
7月	31	48	5	2,442	868	73	3,388	109	47	48	35	59	63	
8月	31	48	15	2,569	886	95	3,565	115	47	48	35	59	63	
9月	30	47	7	1,940	696	34	2,677	89	46	48	31	58	63	
10月	31	43	3	777	238	9	1,027	33	41	43	30	53	63	
11月	30	38	0	421	92	1	514	17	38	39	14	49	62	
12月	31	35	0	275	51	0	326	11	35	36	-	45	60	
2020年 1月	31	40	0	393	135	10	538	17	38	41	27	51	63	
2月	29	37	0	277	53	4	334	12	37	37	21	47	62	
3月	31	41	0	426	188	12	626	20	39	42	29	52	63	
年間値	366	45	47	14,359	4,769	343	19,518	53	44	46	31	56	63	

注1: 「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10 dB以上高くなった航空機の機数である。

注2: 表中の「-」は、期間を通して航空機数が計上されず、騒音が記録されなかったことを示す。

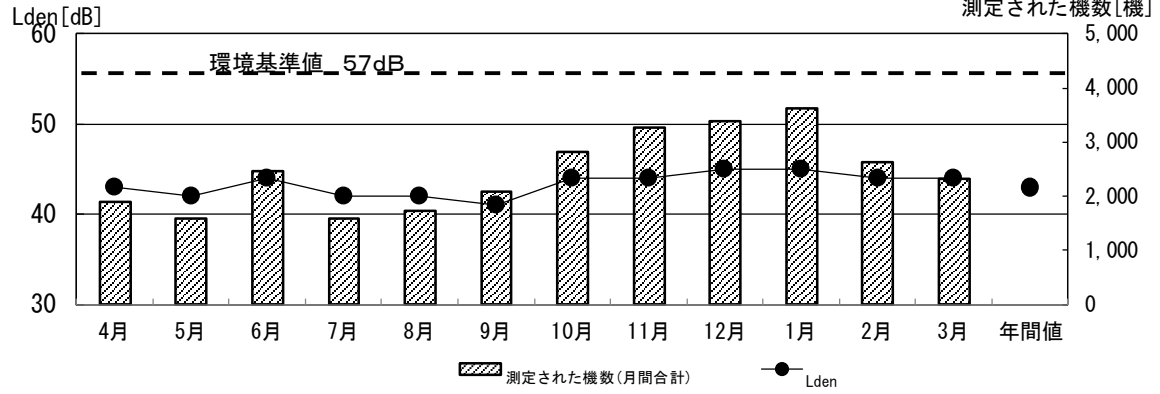
表 3-2 (4) 航空機騒音調査結果 (④木曾岬町東部公民館)

年 月	測定 日数 (日)	L_{den} (dB)	測定された機数 (機) (注1)							時間帯別 L_{Aeq} (dB)			(参考)	
			0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 24:00	月間 合計	日平均	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 7:00	WECPNL	ヒールレベルの パワー 平均値 (dB)	
2019年 4月	30	46	4	1,297	371	17	1,689	56	46	47	30	57	64	
5月	31	48	8	1,839	657	42	2,546	82	47	49	34	59	64	
6月	30	47	4	1,746	613	45	2,408	80	46	48	32	58	64	
7月	31	48	4	2,363	848	74	3,289	106	47	49	35	59	63	
8月	31	48	14	2,452	873	97	3,436	111	47	49	36	59	63	
9月	30	47	7	1,964	682	37	2,690	90	46	48	32	58	63	
10月	31	44	3	801	242	10	1,056	34	43	44	30	54	63	
11月	30	39	0	436	89	1	526	18	39	40	17	50	63	
12月	31	36	0	263	45	0	308	10	35	37	-	45	61	
2020年 1月	31	41	0	405	128	8	541	17	39	43	27	52	64	
2月	29	37	0	277	44	4	325	11	37	37	21	47	62	
3月	31	42	0	384	182	13	579	19	40	43	29	52	63	
年間値	366	45	44	14,227	4,774	348	19,393	53	44	46	31	56	63	

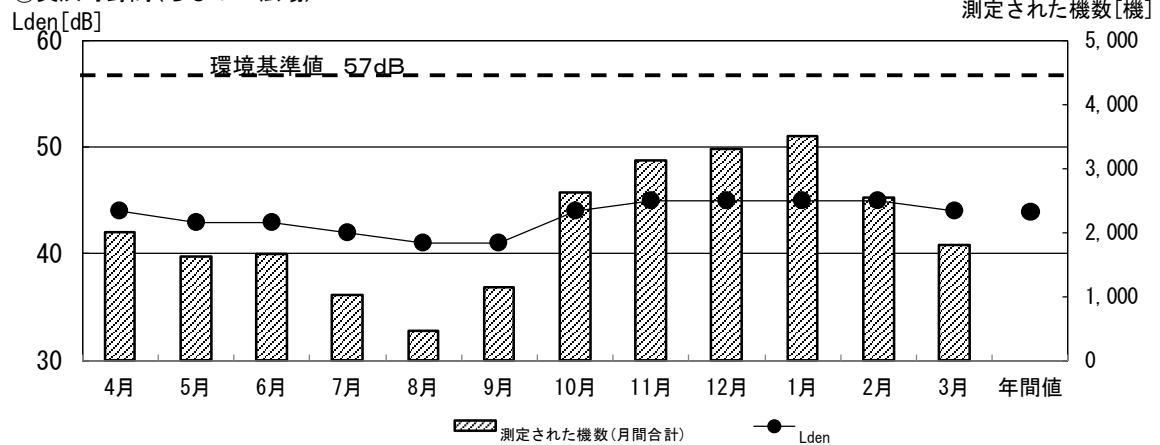
注1: 「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10 dB以上高くなった航空機の機数である。

注2: 表中の「-」は、期間を通して航空機数が計上されず、騒音が記録されなかったことを示す。

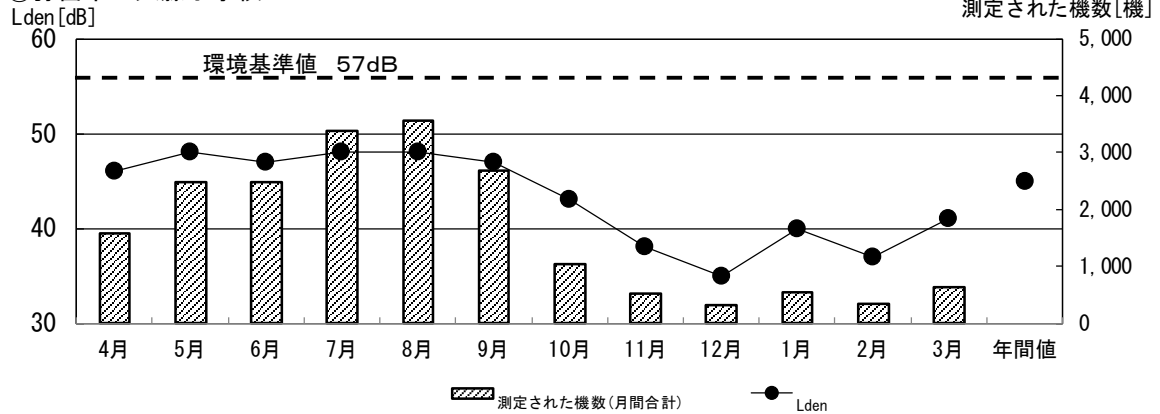
①常滑市立鬼崎中学校



②美浜町野間(ちびっこ広場)



③弥富市立大藤小学校



④木曾岬町東部公民館

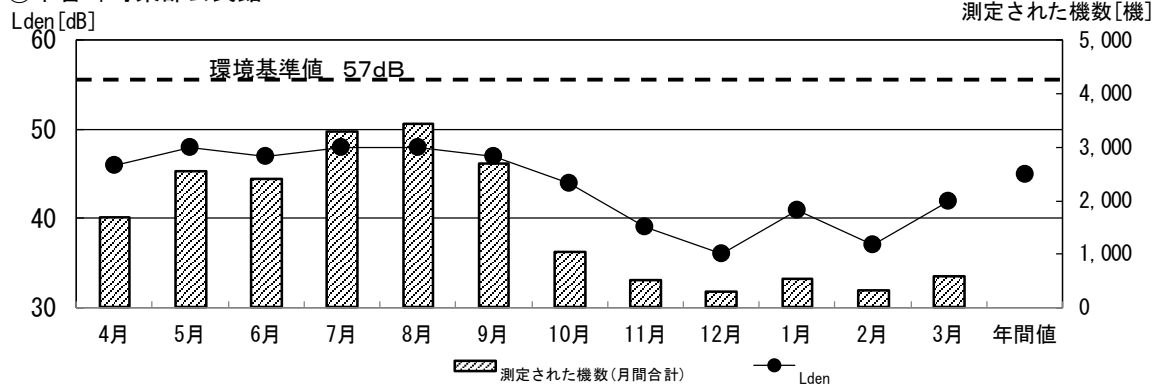
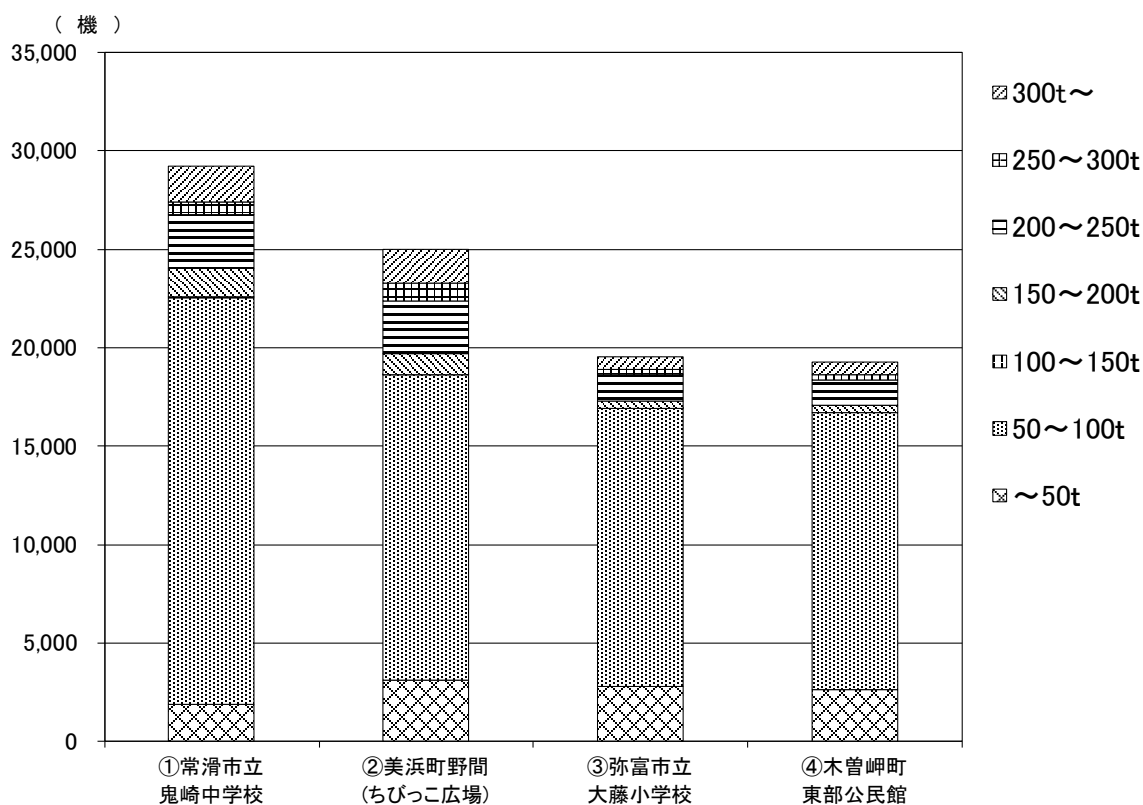


図 3-2 調査地点別の Lden 及び測定された機数



注1：調査期間は2019年4月1日～2020年3月31日

図 3-3 各調査地点における最大離陸重量別の測定された機数

表 3-3 最大離陸重量別の主な航空機材リスト

最大離陸重量	機材
300t~	ボーイング747-200
	ボーイング747-400
	ボーイング747-8
	ボーイング747-LCF
	ボーイング777-300/300ER
	エアバスA380-800
	アントノフ
250~300t	エアバスA340-300
	ボーイング747-400D
200~250t	エアバスA330-200
	エアバスA330-300
	ボーイング777-200/200ER
	ボーイング787-800
	ボーイング787-900
150~200t	エアバスA300-600/600R
	ボーイング767-300/300ER
100~150t	ボーイング757-200
50~100t	エアバスA319-100
	エアバスA320-200
	エアバスA321-200
	ボーイング737-400
	ボーイング737-500
	ボーイング737-700
	ボーイング737-800
	ボーイング737-900
~50t	ボンバルディアDHC-8
	ボンバルディアCRJ
	サーブ2000
	セスナ525C
	アグスタ ウェストランド139
	ベル412

表 3-4 ピークレベルの度数分布（常時監視）

①常滑市立鬼崎中学校

年月	測定された機数(注1)					
	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	合計 機数
2019年4月	320	984	535	61	10	1,910
5月	410	809	319	36	13	1,587
6月	719	1,231	429	72	15	2,466
7月	488	764	276	59	12	1,599
8月	450	864	331	74	9	1,728
9月	550	1,209	297	23	8	2,087
10月	501	1,637	611	62	16	2,827
11月	503	1,656	973	126	16	3,274
12月	405	1,471	1,323	183	8	3,390
2020年1月	472	1,596	1,353	194	22	3,637
2月	341	1,178	983	127	10	2,639
3月	548	1,025	614	108	21	2,316
合計	5,707	14,424	8,044	1,125	160	29,460
割合(%)	19.4	49.0	27.3	3.8	0.5	100.0

②美浜町野間（ちびっこ広場）

年月	測定された機数(注1)					
	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	合計 機数
2019年4月	345	1,181	409	63	9	2,007
5月	404	921	261	39	15	1,640
6月	498	910	221	46	6	1,681
7月	363	468	142	54	8	1,035
8月	89	219	110	43	6	467
9月	366	591	157	42	7	1,163
10月	535	1,704	346	37	8	2,630
11月	555	1,963	555	64	8	3,145
12月	594	2,039	609	66	10	3,318
2020年1月	492	2,262	681	65	14	3,514
2月	438	1,579	469	71	8	2,565
3月	361	1,066	320	53	16	1,816
合計	5,040	14,903	4,280	643	115	24,981
割合(%)	20.2	59.7	17.1	2.6	0.5	100.0

③弥富市立大藤小学校

年月	測定された機数(注1)					
	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	合計 機数
2019年4月	107	221	823	380	44	1,575
5月	68	338	1,415	606	43	2,470
6月	73	456	1,458	470	21	2,478
7月	123	743	2,032	467	23	3,388
8月	136	802	2,181	429	17	3,565
9月	123	573	1,581	378	22	2,677
10月	76	278	511	153	9	1,027
11月	100	128	219	62	5	514
12月	84	128	96	18	0	326
2020年1月	84	135	224	88	7	538
2月	67	100	113	53	1	334
3月	53	155	308	99	11	626
合計	1,094	4,057	10,961	3,203	203	19,518
割合(%)	5.6	20.8	56.2	16.4	1.0	100.0

④木曾岬町東部公民館

年月	測定された機数(注1)					
	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	合計 機数
2019年4月	64	244	900	442	39	1,689
5月	50	316	1,511	636	33	2,546
6月	35	365	1,565	427	16	2,408
7月	34	595	2,210	433	17	3,289
8月	31	575	2,421	389	20	3,436
9月	65	448	1,755	407	15	2,690
10月	62	223	584	179	8	1,056
11月	95	137	214	73	7	526
12月	66	122	97	22	1	308
2020年1月	65	124	212	127	13	541
2月	53	107	135	28	2	325
3月	29	123	329	94	4	579
合計	649	3,379	11,933	3,257	175	19,393
割合(%)	3.3	17.4	61.5	16.8	0.9	100.0

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

イ 定期監視結果

2019年度の定期監視は、夏期を2019年6月22日～28日に、冬期を2020年2月22日～28日に実施し、調査結果は、表3-5(1)、表3-5(2)のとおりである。

夏期の定期監視のLdenは37dB～48dBの範囲であり、冬期の定期監視のLdenは39dB～40dBの範囲であった。

夏期の定期監視のピークレベルの度数分布は表3-6(1)のとおりである。70dB以上のピークレベルが測定されたのは、弥富市(A2)、弥富市(A3)、木曾岬町(M2)であった。

冬期の定期監視のピークレベルの度数分布は表3-6(2)のとおりである。70dB以上のピークレベルが測定されたのは、南知多町(T2)であった。

また、各調査地点の測定機数は、常時監視結果と同様、空港島周辺の風向きが運用方向に影響するため、空港島に近い常滑市立常滑西小学校(T1)は、冬場の北風が吹くときに多くなっている。

空港島の南側にある南知多町町民会館(T2)、三重県伊勢市神社みなとまち館(M4)は、到着機の通過が多くなる冬場に調査を実施している。

一方で、空港島の北側にある愛知県海部地区の愛西市役所(A1)、弥富市十四山西部小学校(A2)、弥富市鍋田公民館(A3)、三重県の桑名市大山田地区市民センター(M1)、木曾岬町農村集落多目的共同利用施設(M2)、四日市市海蔵地区市民センター(M3)は、到着機の通過が多くなる夏場に調査を実施している。

表 3-5 (1) 航空機騒音調査結果 (定期監視：夏期)

調査期間：2019年06月22日(土)～06月28日(金)

調査地点				測定 日数 (日)	L_{den} (dB)	測定された機数 (機) (注1)						時間帯別 L_{Aeq} (dB)			(参考)	
地区	番号	市町村名	施設名称			0:00 ～ 7:00	7:00 ～ 19:00	19:00 ～ 22:00	22:00 ～ 24:00	計	日平均	7:00 ～ 19:00	19:00 ～ 22:00	22:00 ～ 7:00	WECPNL	ヒール レベルの パラー 平均値 (dB)
愛知県 知多地区	T 1	常滑市	常滑西小学校	7	39	50	209	68	35	362	52	34	36	31	52	56
愛知県 海部地区	A 1	愛西市	愛西市役所	7	41	0	229	84	8	321	46	39	43	27	52	60
	A 2	弥富市	十四山西部小学校	7	45	3	466	105	8	582	83	44	46	32	56	62
	A 3	弥富市	鍋田公民館	7	48	2	509	136	10	657	94	47	48	33	59	64
三重県	M 1	桑名市	大山田地区市民センター(注2)	7	37	2	97	35	3	137	20	36	38	22	49	61
	M 2	木曽岬町	農村集落多目的共同利用施設	7	43	2	439	129	9	579	83	42	44	27	54	60
	M 3	四日市市	海蔵地区市民センター	7	39	3	75	33	5	116	17	37	39	27	49	61

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

注2：大山田地区市民センターは設置作業が困難なため、陵成中学校で実施した。

表 3-5(2) 航空機騒音調査結果 (定期監視：冬期)

調査期間：2020年02月22日(土)～02月28日(金)

調査地点				測定 日数 (日)	L_{den} (dB)	測定された機数 (機) (注1)						時間帯別 L_{Aeq} (dB)			(参考)	
地区	番号	市町村名	施設名称			0:00 ～ 7:00	7:00 ～ 19:00	19:00 ～ 22:00	22:00 ～ 24:00	計	日平均	7:00 ～ 19:00	19:00 ～ 22:00	22:00 ～ 7:00	WECPNL	ヒール レベルの パラー 平均値 (dB)
愛知県 知多地区	T 1	常滑市	常滑西小学校	7	40	59	313	59	6	437	62	39	34	31	54	59
	T 2	南知多町	町民会館	7	40	17	110	89	23	239	34	36	37	32	53	59
三重県	M 4	伊勢市	神社みなとまち館	7	39	13	115	67	8	203	29	37	38	30	52	60

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

表 3-6(1) 航空機騒音のピークレベルの度数分布（定期監視：夏期）

調査期間：2019年06月22日（土）～ 06月28日（金）

調 査 地 点				測定された機数（機）（注1）					
地区	番号	市町村名	施設名称	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	合計 機数
愛知県 知多地区	T 1	常滑市	常滑西小学校	214	121	24	3	0	362
愛知県 海部地区	A 1	愛西市	愛西市役所	104	115	87	15	0	321
	A 2	弥富市	十四山西部小学校	47	174	317	43	1	582
	A 3	弥富市	鍋田公民館	11	82	433	126	5	657
三重県	M 1	桑名市	大山田地区市民センター(注2)	25	62	39	11	0	137
	M 2	木曾岬町	農村集落多目的共同利用施設	126	296	129	27	1	579
	M 3	四日市市	海蔵地区市民センター	4	58	49	5	0	116

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

注2：大山田地区市民センターは設置作業が困難なため、陵成中学校で実施した。

表 3-6(2) 航空機騒音のピークレベルの度数分布（定期監視：冬期）

調査期間：2020年02月22日（土）～ 02月28日（金）

調 査 地 点				測定された機数（機）（注1）					
地区	番号	市町村名	施設名称	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	合計 機数
愛知県 知多地区	T 1	常滑市	常滑西小学校	146	212	66	13	0	437
	T 2	南知多町	町民会館	100	117	15	4	3	239
三重県	M 4	伊勢市	神社みなとまち館	58	78	58	9	0	203

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

(3) 航空機騒音の項目別比較検討

評価を行うにあたり、次の①と②について比較・検討した。

① 環境基準値との比較

環境監視結果について、環境基準値（I 類型の基準値 Lden 57dB（表 3-7））と比較した。

② 推移

5年間の推移から変動傾向を把握した。

ア 環境基準値との比較

(ア) 常時監視結果

2019年度の常時監視4地点における航空機騒音調査結果は、表3-8のとおりである。

Ldenは、常滑市立鬼崎中学校では43dB、美浜町野間（ちびっこ広場）では44dB、弥富市立大藤小学校では45dB、木曾岬町東部公民館では45dBであった。

環境基準値と比較した結果、4地点全てにおいて航空機騒音の環境基準（I 類型の基準値 Lden 57dB、以下同じ）を満たしていた。

なお、月別の Lden は、空港島の北側にある調査地点では春から夏が高くなり、空港島の周辺や南側にある調査地点では秋から冬が高い値となった（P16 図 3-2 参照）。これは、春から夏は南向き運用比率が高く、秋から冬は北向き運用比率が高いためである。

(イ) 定期監視結果

2019年度の夏期定期監視7地点、冬期定期監視3地点における航空機騒音調査結果は、表3-9のとおりである。

Ldenは37dB～48dBの範囲にあり、環境基準値と比較した結果、全ての調査において航空機騒音の環境基準を満たしていた。

図2-4に示したとおり運用比率は、2019年6月に実施した定期監視（夏期）は南向き運用の比率が高く、空港島の北側にある愛知県の愛西市（A1）、弥富市（A2、A3）や三重県の桑名市（M1）、木曾岬町（M2）、四日市市（M3）は、南向き運用の着陸便の影響を受けた値となっている。2020年2月に実施した定期監視（冬期）は、北向き運用の比率が高く、愛知県の南知多町（T2）、三重県の伊勢市（M4）は、北向き運用の着陸便の影響を受けた値となり、同様に常滑市（T1）は、北向き運用の離陸便の影響を受けた値となっている。

なお、参考までに、愛知県及び三重県が実施した中部国際空港に係る航空機騒音の調査結果を表3-10及び表3-11に示す。

表 3-7 航空機騒音に係る環境基準

< 中部国際空港の航空機騒音に係る環境基準 >

該当地域		地域の 類型	基準値	施行
愛 知 県	常滑市、弥富市、海部郡飛島村並びに知多郡南知多町及び美浜町の区域。ただし、空港島の区域、河川区域及び工業専用地域を除く。	I	Lden 57dB 以下	平成 1 8 (2006)年 4月 1 日
三 重 県	桑名市の長島町、鳥羽市の答志島及び木曾岬町の区域。ただし、河川区域を除く。	I		平成 1 9 (2007)年 4月 1 日

(昭和48.12.27 環境庁告示第154号)

改正 平5環告91

改正 平12環告78

改正 平成19年環告114

環境基本法（平成5年法律第91号）第16条第1項の規定に基づく騒音に係る環境上の条件につき、生活環境を保全し、人の健康の保護に資するうえで維持することが望ましい航空機騒音に係る基準（以下「環境基準」という。）及びその達成期間は、次のとおりとする。

第1 環境基準

1 環境基準は、地域の類型ごとに次表の基準値の欄に掲げるとおりとし、各類型をあてはめる地域は、都道府県知事が指定する。

地域の類型	基準値
I	57デシベル以下
II	62デシベル以下

(注) I をあてはめる地域は専ら住居の用に供される地域とし、II をあてはめる地域は I 以外の地域であつて通常の生活を保全する必要がある地域とする。

(出典：環境省HP)

表 3-8 航空機騒音調査結果（常時監視）

調査期間：2019年4月1日～2020年3月31日

調査地点	環境基準		L_{den} (dB)	測定された機数 (機) (注1)		時間帯別 L_{Aeq} (dB)			測定 日数 (日)	(参考)	
	地域 の 類型	環境 基準値 L_{den} (dB)		年間	日平均	7:00 ～ 19:00	19:00 ～ 22:00	22:00 ～ 7:00		WECPNL	レベル の パワー平均 値 (dB)
①常滑市立 鬼崎中学校(注2)	I	57以下	43	29,460	81	42	41	34	364 (注3)	56	60
②美浜町野間 (ちびっこ広場)	I	57以下	44	24,981	68	40	42	35	366	55	59
③弥富市立 大藤小学校	I	57以下	45	19,518	53	44	46	31	366	56	63
④木曾岬町 東部公民館	I	57以下	45	19,393	53	44	46	31	366	56	63

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

注2：2018年8月9日（木）～2019年5月29日（水）までは、常滑市立鬼崎西保育園で測定を実施。

注3：5月30日（木）～5月31日（金）までの2日間は、測定機器の再設置工事のため欠測。

表 3-9 航空機騒音調査結果（定期監視）

調査地点				環境基準		調査期間 (注2)	測定 日数 (日)	調査結果			
地区	番号	市町村名	施設名称	地域 の 類型 (注1)	環境 基準値 (dB)			L_{den} (dB)	測定され た機数 (機) (注3)	測定され た機数の 1日平均 (機)	(参考) WECPNL
愛知県 知多地区	T1	常滑市	常滑西小学校	I	L_{den} 57以下	調査期間1	7	39	362	52	52
						調査期間2	7	40	437	62	54
	T2	南知多町	町民会館	I	L_{den} 57以下	調査期間2	7	40	239	34	53
愛知県 海部地区	A1	愛西市	愛西市役所	—	—	調査期間1	7	41	321	46	52
	A2	弥富市	十四山西部小学校	I	L_{den} 57以下	調査期間1	7	45	582	83	56
	A3	弥富市	鍋田公民館	I	L_{den} 57以下	調査期間1	7	48	657	94	59
三重県	M1	桑名市	大山田地区市民センター(注4)	—	—	調査期間1	7	37	137	20	49
	M2	木曾岬町	農村集落多目的共同利用施設	I	L_{den} 57以下	調査期間1	7	43	579	83	54
	M3	四日市市	海蔵地区市民センター	—	—	調査期間1	7	39	116	17	49
	M4	伊勢市	神社みなとまち館	—	—	調査期間2	7	39	203	29	52

注1：「—」は、類型指定されていないことを示す。

注2：調査期間1：2019年06月22日（土）～06月28日（金）

調査期間2：2020年02月22日（土）～02月28日（金）

注3：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

注4：大山田地区市民センターでの設置作業が困難なため、陵成中学校にて実施した。

表 3-10 中部国際空港に係る愛知県の航空機騒音の調査結果

表 5 2019年度 中部国際空港に係る航空機騒音調査結果

(単位：dB)

No.	調査地点	調査実施期間	調査結果	環境基準	調査機関
1	海部郡飛島村大字服岡七丁目(夏季)	9/19 ~ 9/25	33	57	愛知県
	海部郡飛島村大字服岡八丁目(冬季)	3/18 ~ 3/24			
2	弥富市鍋田町稲山	6/29 ~ 7/5	46	57	愛知県
		1/17 ~ 1/23			
3	常滑市樽水町二丁目	6/21 ~ 6/27	41	57	愛知県
		1/27 ~ 2/2			
4	知多郡美浜町大字上野間字泉乙	6/13 ~ 6/19	34	57	愛知県
		2/4 ~ 2/10			
5	知多郡南知多町大字豊浜字須佐ヶ丘	6/5 ~ 6/11	33	57	愛知県
		2/13 ~ 2/19			
6	愛西市稲葉町米野	7/9 ~ 7/15	42	-	愛知県
7	知多市南粕谷本町三丁目	2/21 ~ 2/27	35	-	愛知県

(注) No. 1 は施設の電源不具合のため、冬季から測定地点を変更した。

(注) No. 6, 7 は環境基準の地域類型を指定した地域外の調査地点である。

注 1 : - は類型指定されていないことを示す。

注 2 : 2020 年 9 月末時点で公表されている調査結果を掲載。

出典 : 愛知県ホームページ「2019 年度交通騒音・振動調査結果について」から抜粋。

表 3-11 中部国際空港に係る三重県の航空機騒音の調査結果

調査地点	桑名市長島地区市民センター(桑名市長島町松ヶ島 38 付近)							
調査期間	令和元年 7 月 5 日(金)～7 月 11 日(木)							
調査日	評価値 L_{den} [dB]	参考値						
		航空機騒音の L_{Aeq} [dB]			騒音発生回数			
		$L_{Aeq,d}$	$L_{Aeq,e}$	$L_{Aeq,n}$	昼間	夕方	夜間	計
7 月 5 日(金)	33.7	-	37.8	-	0	2	0	2
7 月 6 日(土)	34.0	30.4	37.0	-	4	5	0	9
7 月 7 日(日)	26.7	29.7	-	-	4	0	0	4
7 月 8 日(月)	30.3	-	34.3	-	0	3	0	3
7 月 9 日(火)	23.2	23.1	24.3	-	1	1	0	2
7 月 10 日(水)	26.5	27.2	26.8	-	2	1	0	3
7 月 11 日(木)	-	-	-	-	0	0	0	0
測定期間全体	30.1	26.0	33.2	-	2	2	0	3

令和元年度 航空機騒音 地点別調査結果一覧表

地点番号	測定場所	用途地域	地域類型	評価値 L_{den} [dB]	測定期間
1	桑名市長島地区市民センター (桑名市長島町松ヶ島 38 付近)	第 2 種住居地域	I	30	短期測定 7/5 ~ 7/11

出典：三重県環境生活部大気・水環境課ウェブサイトから抜粋。

イ 推移

(ア) 常時監視結果

中部国際空港の航空機騒音の変動傾向を把握するため、5年間の常時監視調査結果の推移をとりまとめた。常時監視結果の推移は、表 3-12 及び図 3-4 のとおりである。

表 3-12 5年間の Lden と測定された機数の推移（常時監視）

測定地点	常時監視局結果の年間の推移				
	上段:Lden値(dB) 下段:測定された機数の日平均(機)(注1)				
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
①常滑市 鬼崎中学校	43	43	44	44 (注3)	43 (注3)(注4)
	80	76	83	69(注3)	81(注3)(注4)
②美浜町野間 (ちびっこ広場)	43	44	44	44	44
	58	58	60	62	68
③弥富市 大藤小学校	45	45	45 (注2)	45	45
	45	46	43(注2)	46	53
④木曾岬町 東部公民館	46	45	45	45	45
	47	48	45	47	53

注1:「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

注2:2017年7月1日～9月30日までは、校舍改修工事のため、弥富市立大藤保育園で測定を実施。

注3:2018年8月9日～2019年3月31日までは、校舍改修工事のため、常滑市立鬼崎西保育園で測定を実施。

注4:2019年5月30日～2019年5月29日までは、測定機器の再設置工事のため欠測。

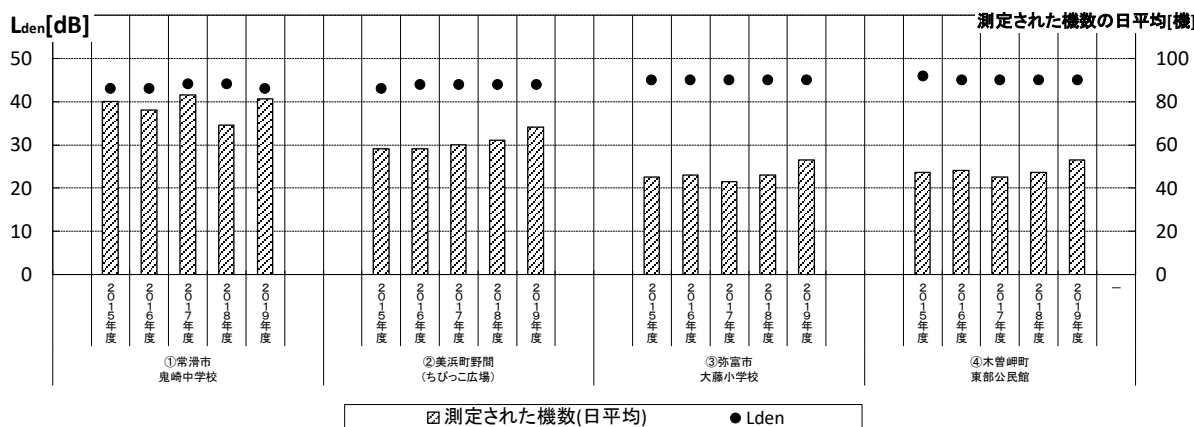


図 3-4 5年間の Lden と測定された機数の推移（常時監視）

常滑市立鬼崎中学校は、2019年度は前年度と比較して測定場所の変更により測定された機数に変化があったものの、Ldenは毎年度同程度で推移している。

美浜町野間（ちびっこ広場）、弥富市立大藤小学校、木曾岬町東部公民館は、測定された機数が軒増傾向にあるものの、Ldenは毎年度同程度で推移している。

(イ)定期監視結果

定期監視結果の変動傾向を把握するため、5年間の調査結果の推移をとりまとめた。夏期監視結果の推移は、表 3-13(1)及び図 3-7(1)、冬期監視結果は、表 3-13(2)、図 3-7(2)のとおりである。

表 3-13(1) 5年間の Lden 及び測定された機数の推移 (定期監視：夏期)

調査地点				定期監視結果(夏期)の推移				
地区	番号	市町村名	施設名称	上段:Lden値(dB) 下段:測定された機数の日平均(機)(注1)				
				2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
愛知県	知多	T1 常滑市	常滑西小学校	37	39	40	40	39
				27	54	63	45	52
	海部	A1 愛西市	愛西市役所	40(注2)	38	39	36	41
				22(注2)	29	30	21	46
		A2 弥富市	十四山西部小学校	45	43	44	42	45
				66	64	58	56	83
A3 弥富市	鍋田公民館	48	46	47	45	48		
		67	62	63	58	94		
三重県	M1 桑名市	大山田地区市民センター	38	35(注3)	38(注3)	38(注3)	37(注3)	
			17	12(注3)	19(注3)	16(注3)	20(注3)	
	M2 木曾岬町	農村集落多目的共同利用施設	43	41	43	40	43	
			58	57	61	44	83	
	M3 四日市市	海蔵地区市民センター	36	37	38	37	39	
			10	15	20	16	17	

注1:「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

注2:2014年度、2015年度は、市江コミュニティーセンターで測定を実施。

注3:2016年度～2019年度は、陵成中学校で測定を実施。

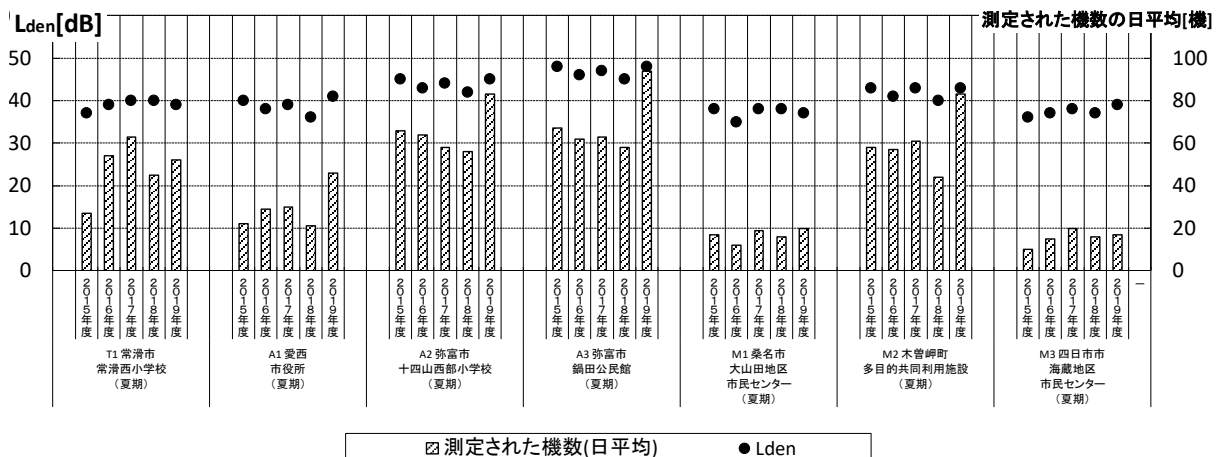


図 3-5(1) 5年間の Lden と測定された機数の推移 (T1,A1,A2,A3,M1,M2,M3)

表 3-13(2) 5年間の Lden、測定された機数の推移（定期監視：冬期）

調査地点				定期監視結果(冬期)の推移				
地区	番号	市町村名	施設名称	上段:Lden値(dB) 中段:測定された機数の日平均(機)(注1)				
				2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
愛知県 知多	T1	常滑市	常滑西小学校	40	42	40	42	40
				75	100	69	85	62
	T2	南知多町	町民会館体育館	38	39	38	38	40
				60	48	39	43	34
三重県	M4	伊勢市	神社みなとまち館	40	40	40	41	39
				36	27	34	40	29

注1:「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

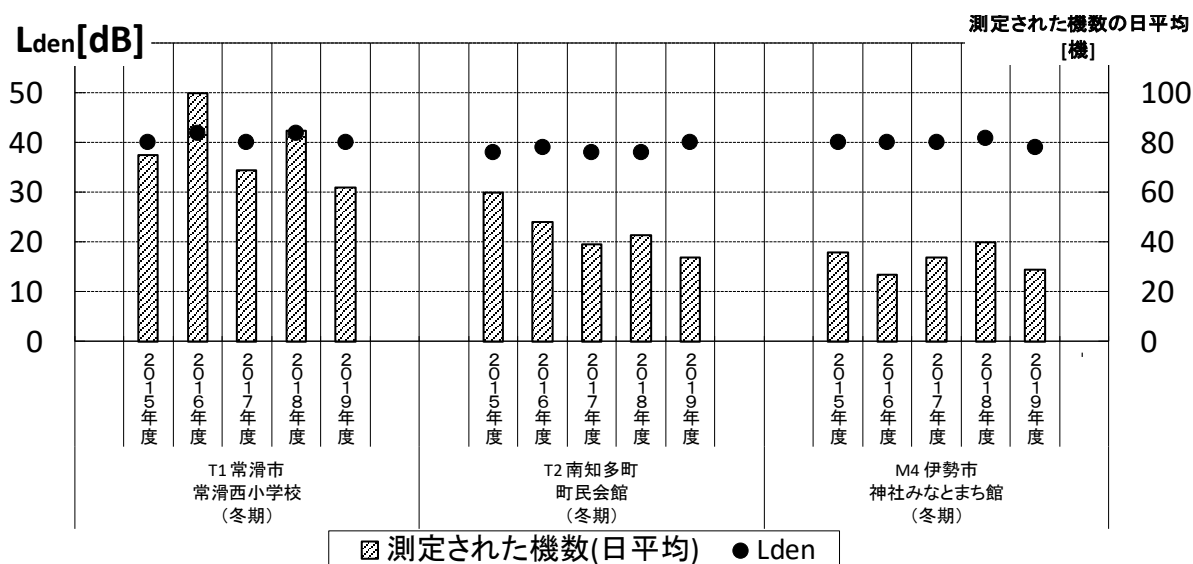


図 3-5(2) 5年間の Lden と測定された機数の推移 (T1,T2,M4)

夏期は、各年度測定期間の風向により測定された機数に変動があり、Lden も変動している。冬期は風向が一定しており、測定された機数、Lden とも毎年度同程度で推移している。

(4) 航空機騒音の評価

2019年度の常時監視4地点の年間のLdenは43dB～45dBの範囲にあり、環境基準値(I類型:Lden 57dB以下)と比較した結果、全調査地点で環境基準を満たしていた。また5年間のLdenは同程度に推移した。

2019年度の定期監視9地点の調査期間中のLdenは37dB～48dBの範囲にあり、環境基準値(I類型:Lden 57dB以下)と比較した結果、全調査地点で環境基準を満たしていた。また5年間のLdenは同程度に推移した。

以上より、2019年度の常時監視及び定期監視結果は全調査地点で環境基準を満たしており、5年間の推移でも大きな変化はみられなかった。

中部国際空港の航空機騒音に関する検討委員会

委員	三重大学大学院准教授	寺島 貴根
	名城大学教授	岡田 恭明

参考資料 1

開港からの推移

常時監視結果

調査地点	Lden(dB)：上段 測定された機数の日平均(機)：中段(注1) WECPNL(単位なし)：下段(注2)															
	2004年度(注3)	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
①常滑市立 鬼崎中学校	/	/	/	/	/	/	/	/	/	44	43	43	43	44	44注6	43注6
	(108)	98	99	91	86	78	62	60	63	67	75	80	76	83	69注6	81注6
	(61)	61	61	60	59	58	56	56	55	(56)	(56)	(55)	(55)	(56)	(56)注6	(56)注6
②美浜町野間 (ちびっこ広場)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	43	44	43	44	44	44	44
	(101)	92	94	84	76	68	59	60	47	52	55	58	58	60	62	68
	(57)	56	57	57	56	55	55	55	54	(55)	(55)	(55)	(55)	(55)	(55)	(55)
③弥富市立 大藤小学校	/	/	/	/	/	/	/	/	/	44	45	45	45	45注5	45	45
	(25)	54	54	51	44	39	41	40	43	41	43	45	46	43注5	46	53
	(53)	57	58	57	56	56	56	56	56	(55)	(56)	(56)	(56)	(55)注5	(56)	(56)
④木曾岬町 東部公民館	/	/	/	/	/	/	/	/	/	45	46	46	45	45	45	45
	(6)注4	13注4	10注4	49	43	39	41	40	43	42	44	47	48	45	47	53
	(47)注4	49注4	48注4	58	57	57	56	56	56	(56)	(56)	(56)	(56)	(56)	(56)	(56)

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数。

注2：開港からの推移を把握するために、2013年度から下段の（）内にWECPNLを参考値として記載。

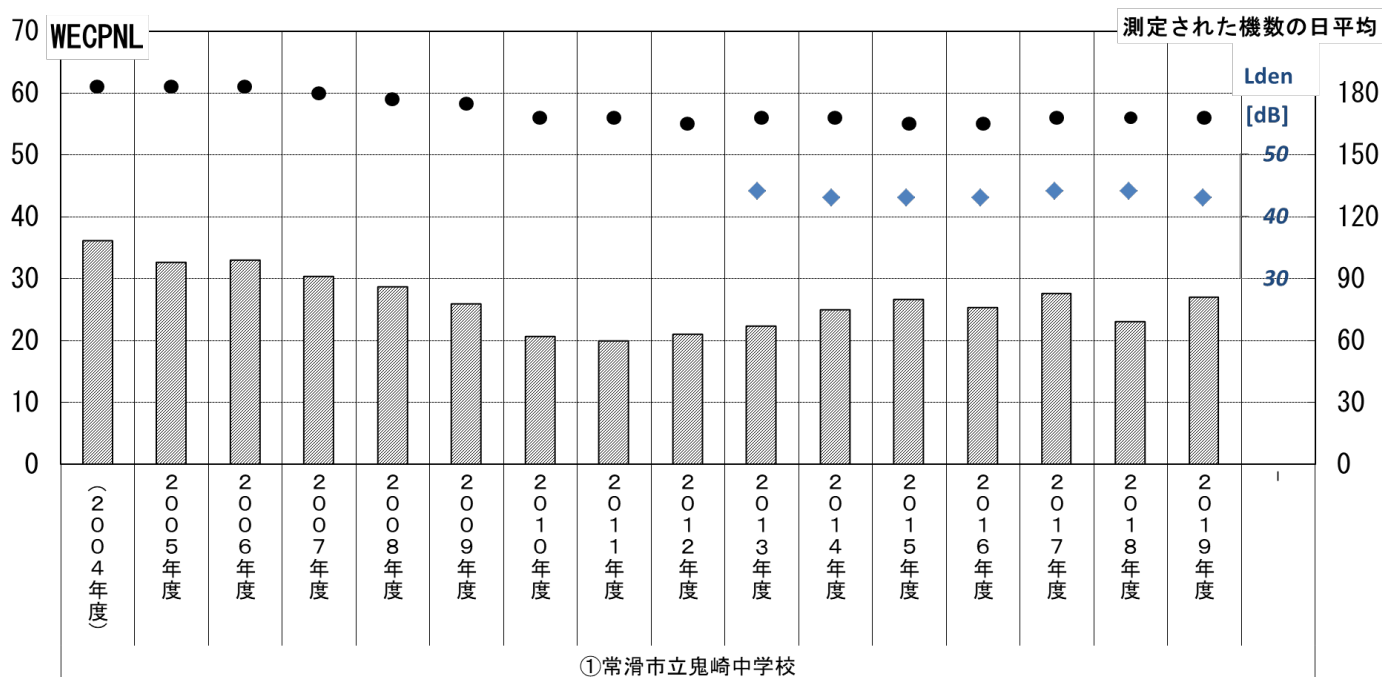
注3：2004年度は、2005年2月17日～3月31日までの値で、（）内に参考値として記載。

注4：木曾岬町南部クリーンセンターでの測定値。

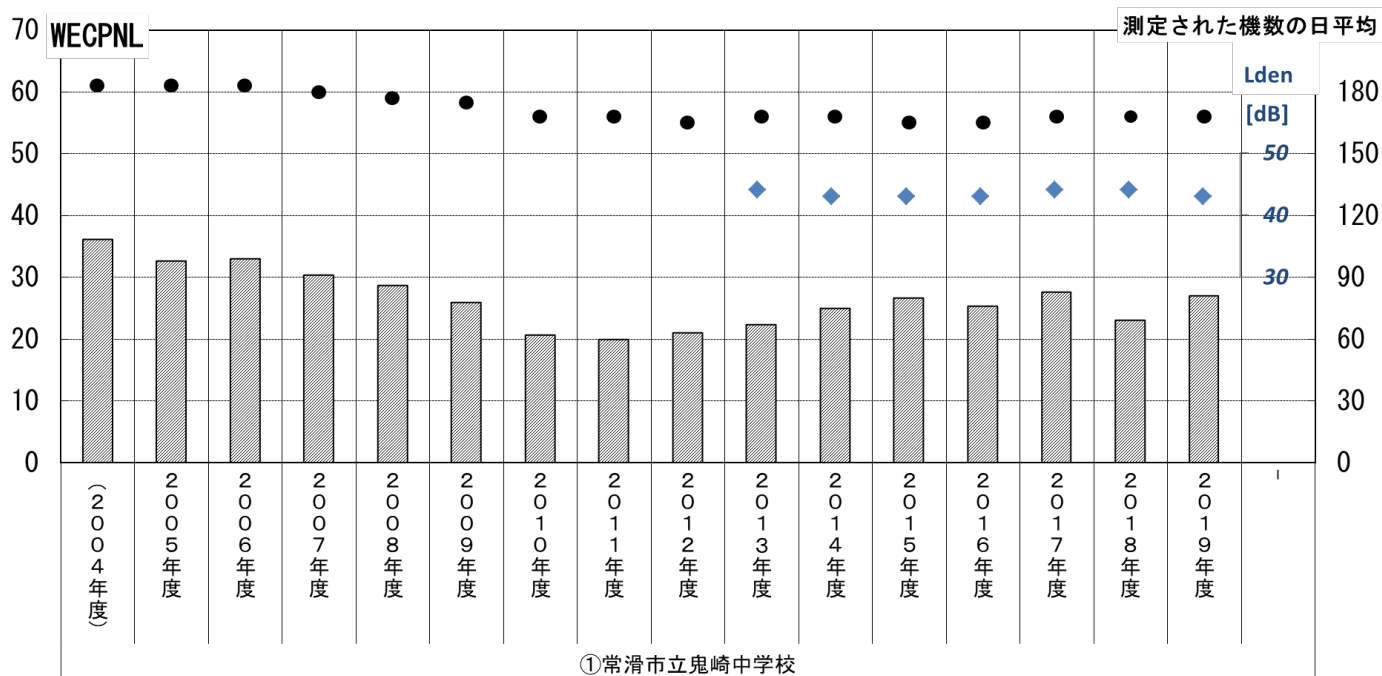
注5：2017年7月1日～9月30日までは、弥富市立大藤保育園での測定値。

注6：2018年8月9日～2019年5月29日までは、常滑市立鬼崎西保育園での測定値。

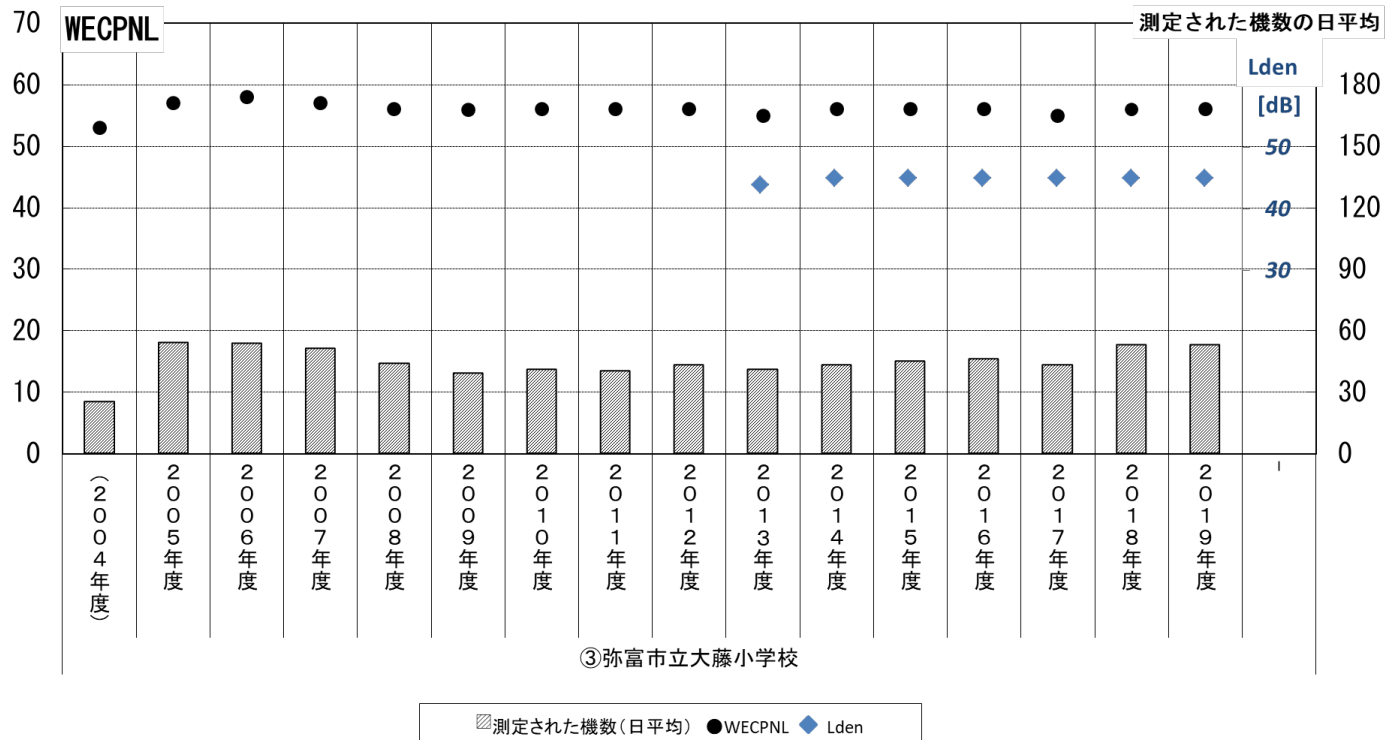
①常滑市立鬼崎中学校



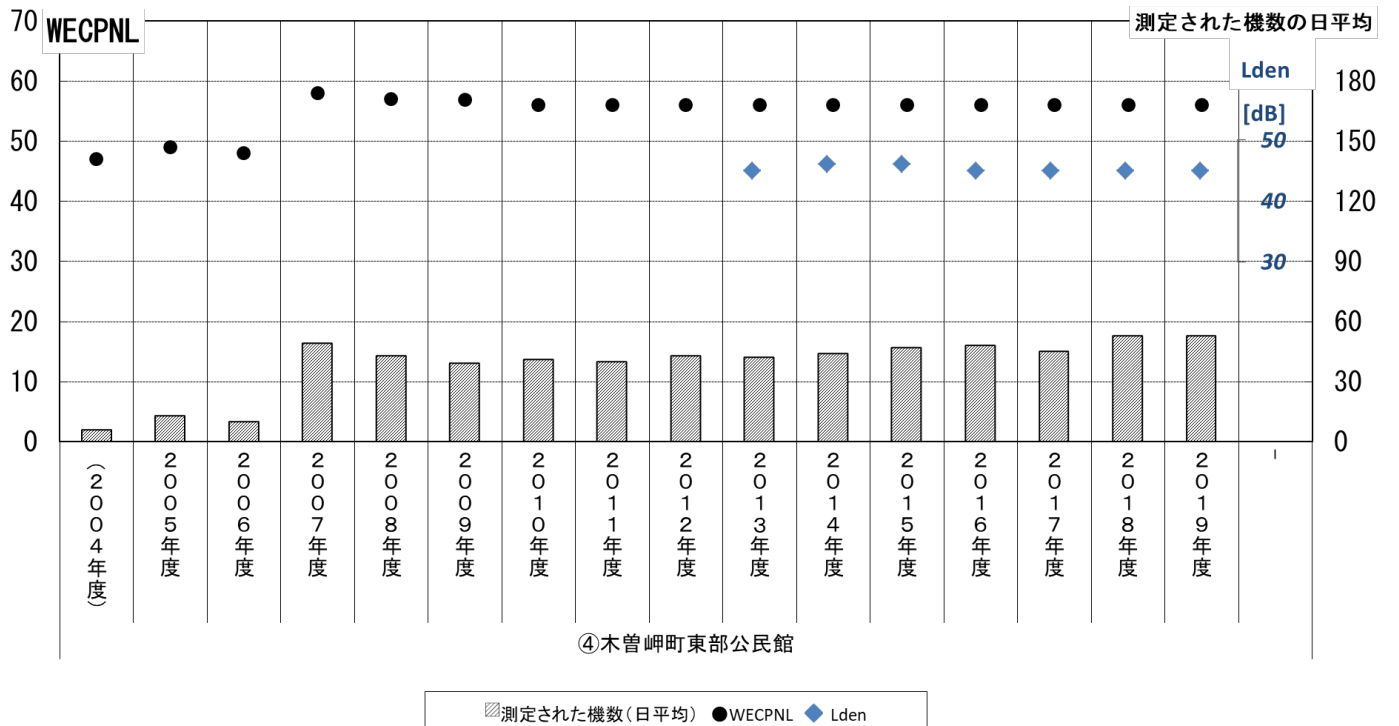
②美浜町野間 (ちびっこ広場)



③ 弥富市立大藤小学校



④ 木曾岬町東部公民館



定期監視結果

夏期

調査地点				定期監視結果（夏期）の推移															
地区	番号	市町村名	施設名称	上段:Lden値(dB) 中段:測定された機数の日平均(機)(注1) 下段:WECPNL値(注2)															
				2005年度(注3)	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
愛知県	知多	T1 常滑市	常滑西小学校	/	/	/	/	/	/	/	/	/	37	35	37	39	40	40	39
				-	38	35	31	33	16	25	29	40	26	27	54	63	45	52	
				-	55	56	51	53	51	51	50	(50)	(48)	(50)	(53)	(53)	(53)	(52)	
	愛西市	A1 愛西市	愛西市役所	/	/	/	/	/	/	/	/	/	41注5	42注5	40注5	38	39	36	41
				-	15	19	21	9	12	9	32	24注5	33注5	22注5	29	30	21	46	
				-	51	53	53	49	50	48	52	(52)注5	(53)注5	(51)注5	(50)	(50)	(47)	(52)	
	海部	A2 弥富市	十四山西部小学校	/	/	/	/	/	/	/	/	/	45	45	45	43	44	42	45
				-	54	64	62	52	52	58	73	64	84	66	64	58	56	83	
				-	55	57	56	54	54	54	56	(55)	(57)	(56)	(54)	(54)	(54)	(56)	
	A3 弥富市	鍋田公民館	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	48	49	48	46	47	45	48
			-	86	81	78	66	63	72	80	70	96	67	62	63	58	94		
			-	59	60	59	58	58	59	59	(59)	(60)	(59)	(57)	(58)	(57)	(59)		
三重県	M1 桑名市	大山田地区市民センター	/	/	/	/	/	/	/	/	/	37	39	38	35注6	38注6	38注6	37注6	
			-	7	6	8	10	13	18	21	16	24	17	12注6	19注6	16注6	20注6		
			-	48	46	47	47	48	51	51	(49)	(51)	(50)	(48)注6	(51)注6	(51)注6	(49)注6		
	M2 木曾岬町	農村集落多目的共同利用施設	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	43	46	43	41	43	40	43
			-	81注4	60	70	44	55	67	74	58	86	58	57	61	44	83		
			-	58注4	54	54	52	53	53	56	(54)	(56)	(54)	(52)	(54)	(51)	(54)		
	M3 四日市市	海蔵地区市民センター	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	34	39	36	37	38	37	39
			-	1	0	1	1	1	0	15	9	22	10	15	20	16	17		
			-	42	34	38	40	38	36	48	(44)	(49)	(47)	(46)	(49)	(47)	(49)		

注1:「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数。

注2:開港からの推移を把握するために、2013年度から下段の()内にWECPNLを参考値として記載。

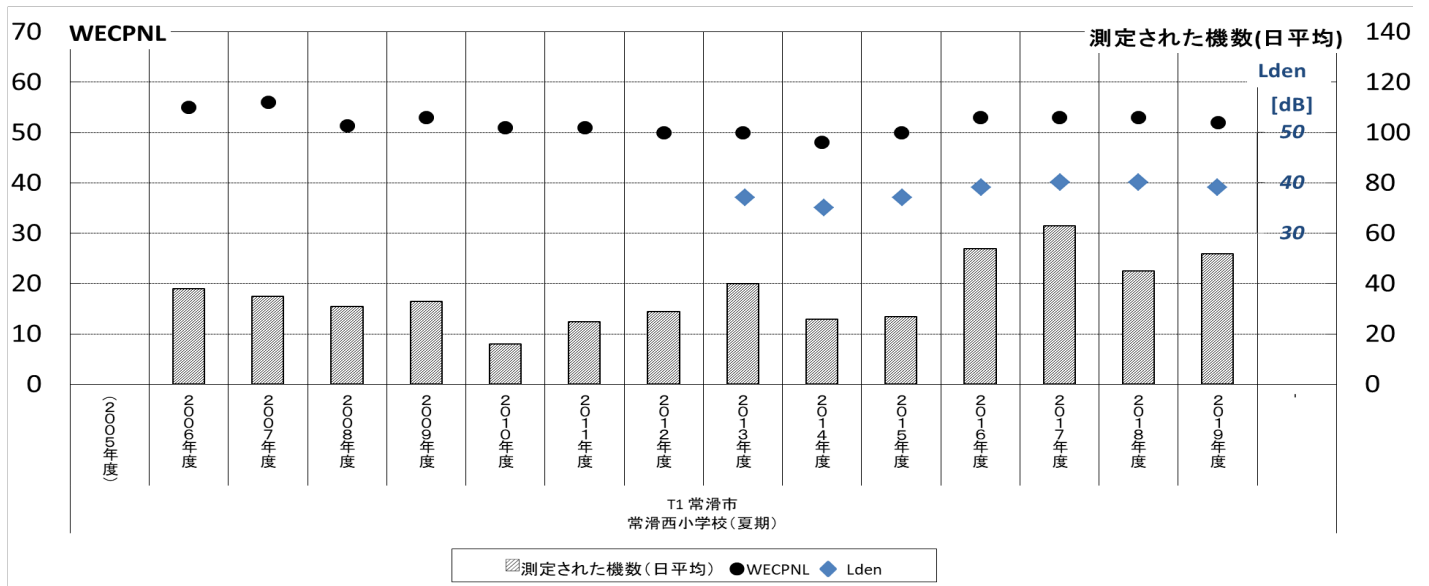
注3:2005年度は、定期監視調査を2006年2月に1回目の調査を実施したため、調査結果なし。

注4:東部公民館での測定値。

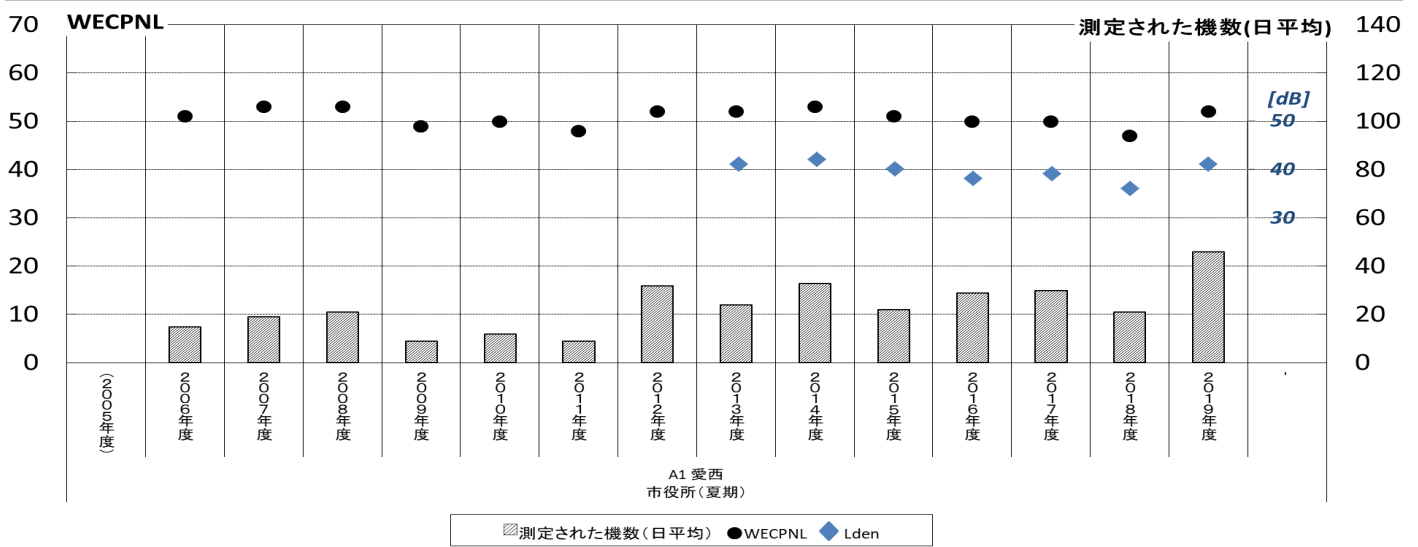
注5:市江コミュニティーセンターでの測定値。

注6:陵成中学校での測定値。

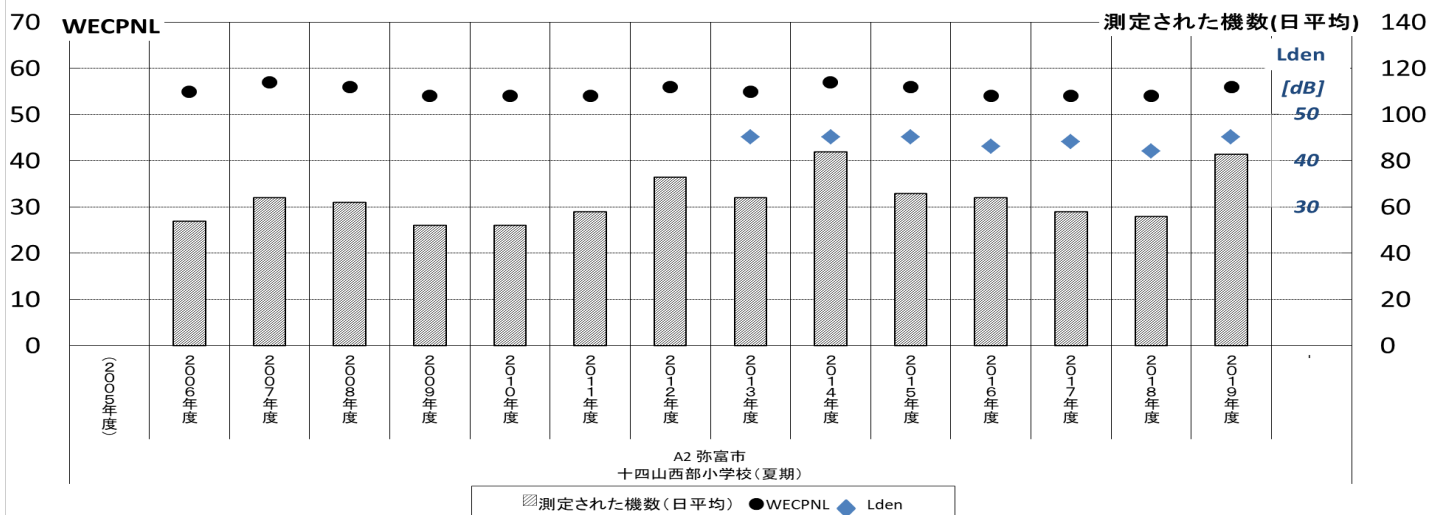
T1 常滑市常滑西小学校



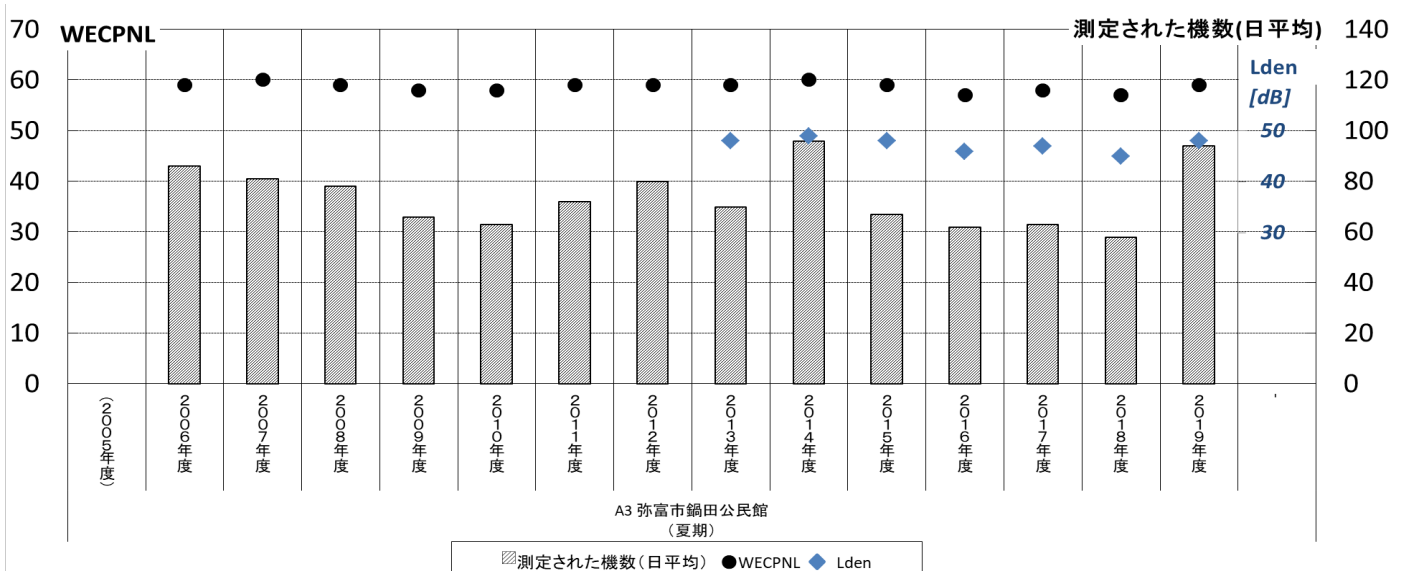
A 1 愛西市役所



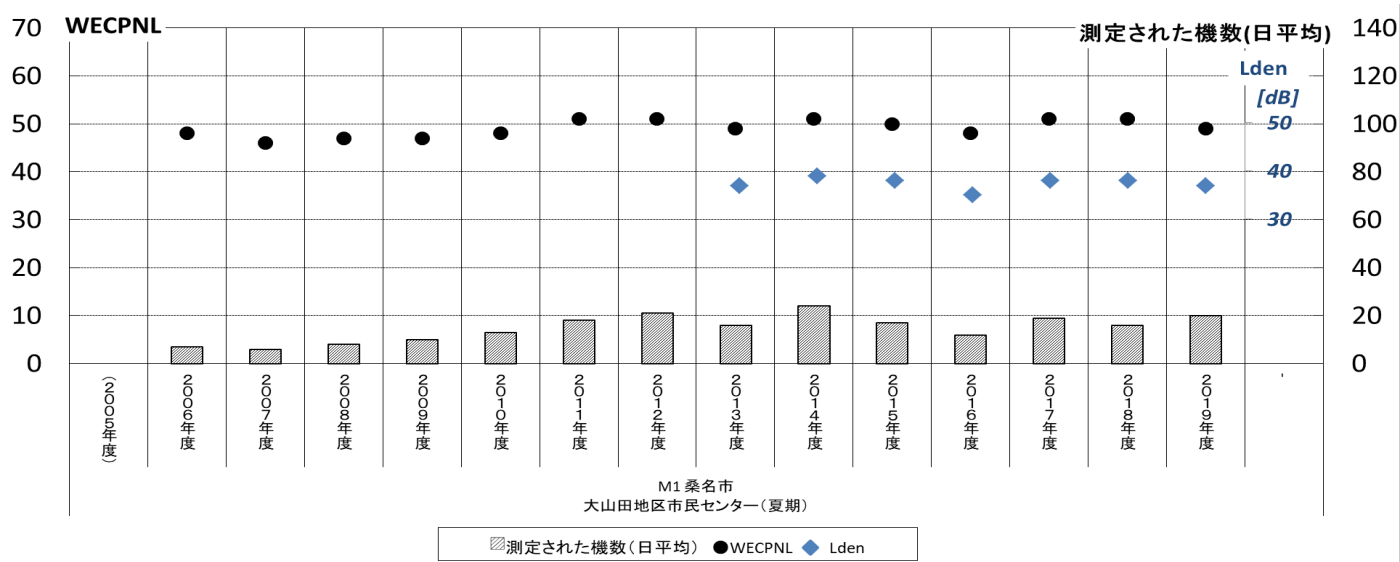
A 2 弥富市十四山西部小学校



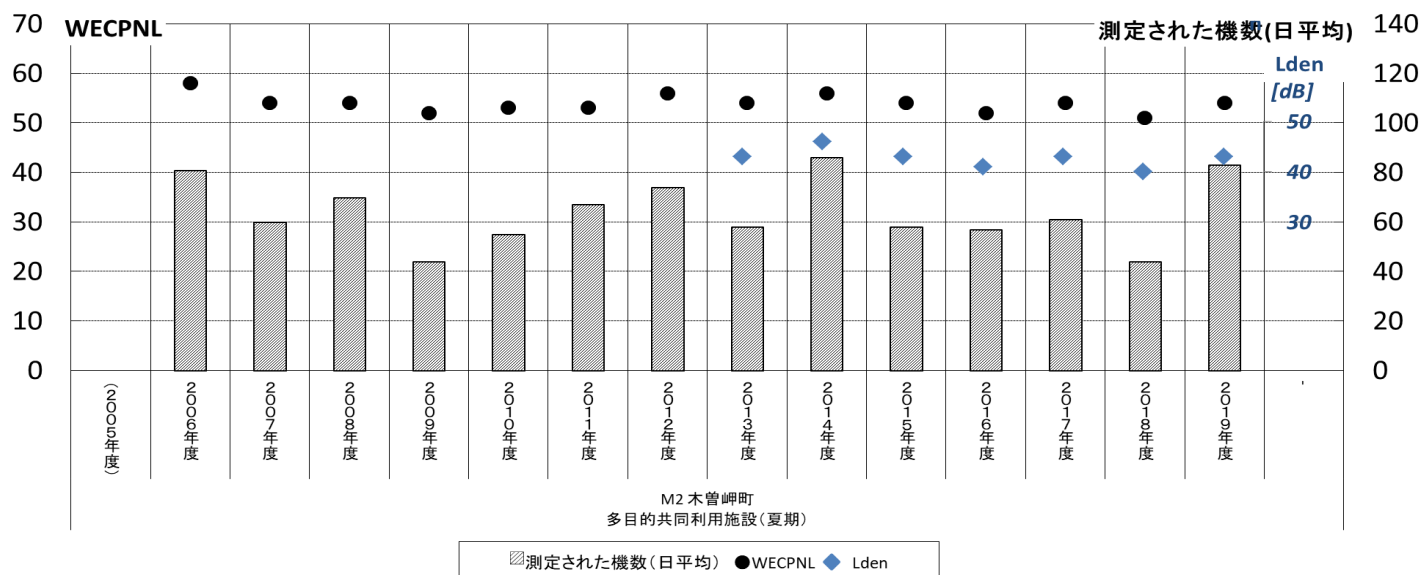
A 3 弥富市鍋田公民館



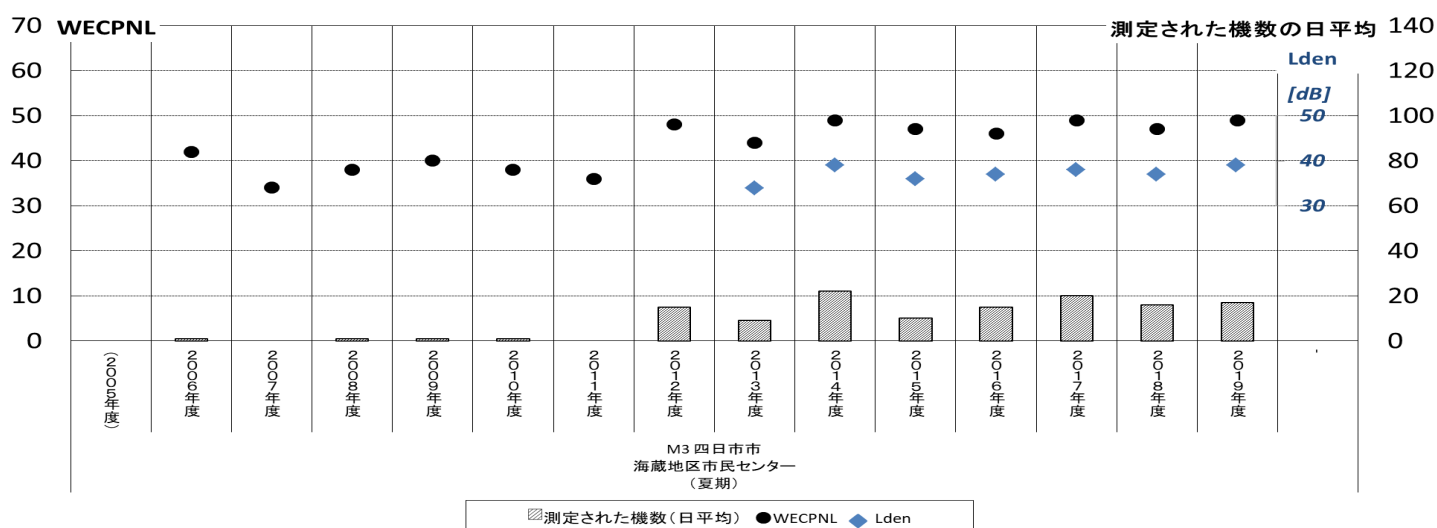
M1 桑名市大山田地区市民センター



M2 木曾岬町多目的共同利用施設



M3 四日市市海蔵地区市民センター



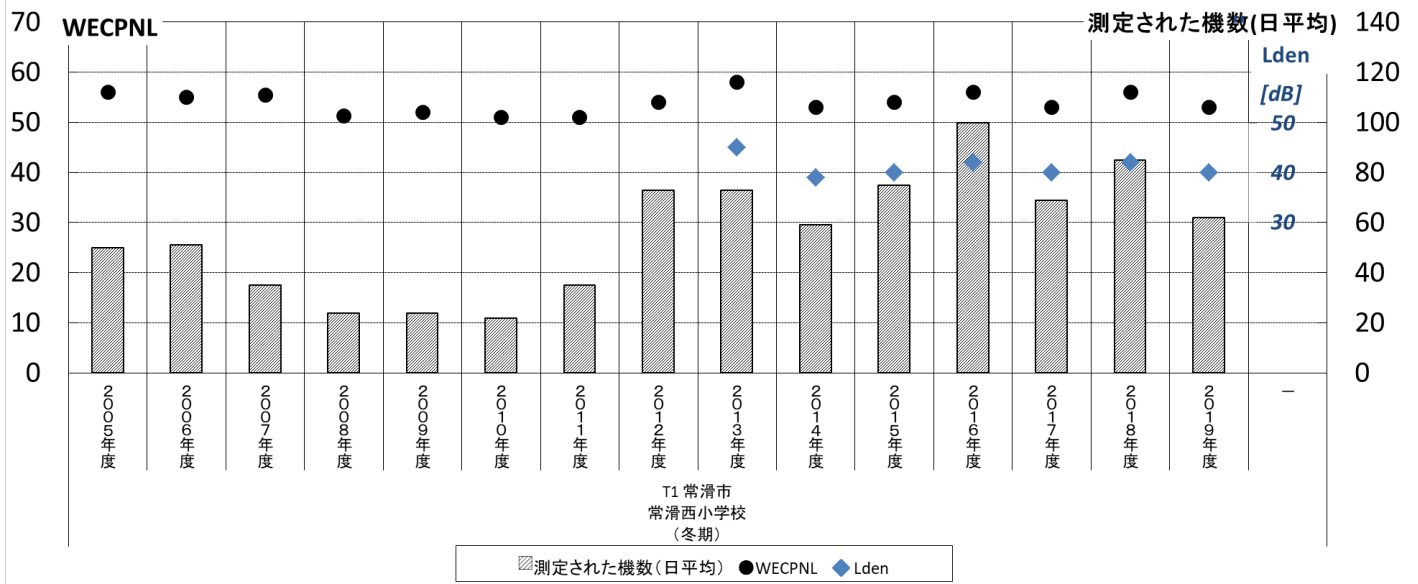
冬期

調査地点				定期監視結果（冬期）の推移															
地区	番号	市町村名	施設名称	上段:Lden値(dB) 中段:測定された機数の日平均(機)(注1) 下段:WECPNL値(注2)															
				2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
愛知県 知多	T1	常滑市	常滑西小学校										45	39	40	42	40	42	40
				50	51	35	24	24	22	35	73	73	59	75	100	69	85	62	
				56	56	55	51	52	51	51	54	(58)	(53)	(54)	(56)	(53)	(56)	(53)	
	T2	南知多町	町民会館体育館										36	39	38	39	38	38	40
				8	24	19	14	6	10	12	21	17	54	60	48	39	43	34	
				49	51	49	49	47	49	50	51	(50)	(53)	(50)	(53)	(51)	(52)	(51)	
三重県	M4	伊勢市	神社みなとまち館										39	40	40	40	40	41	39
				11	21	16	11	12	13	23	26	25	26	36	27	34	40	29	
				50	52	49	46	48	49	51	52	(52)	(54)	(53)	(53)	(53)	(55)	(53)	

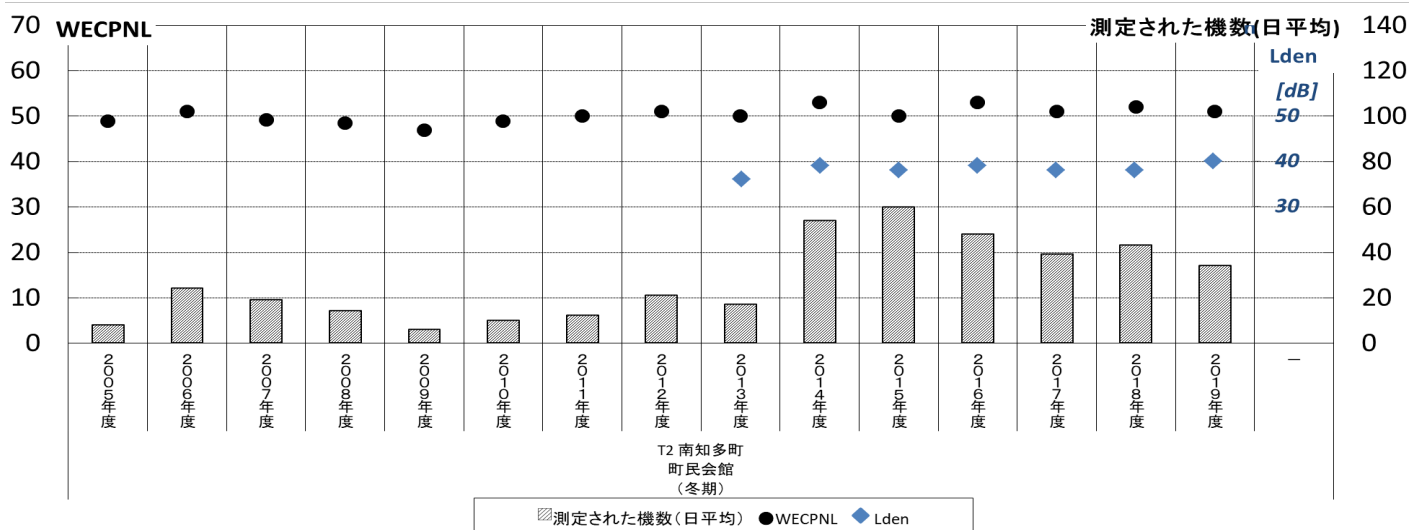
注1:「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数。

注2:開港からの推移を把握するために、2013年度から下段の()内にWECPNLを参考値と記載。

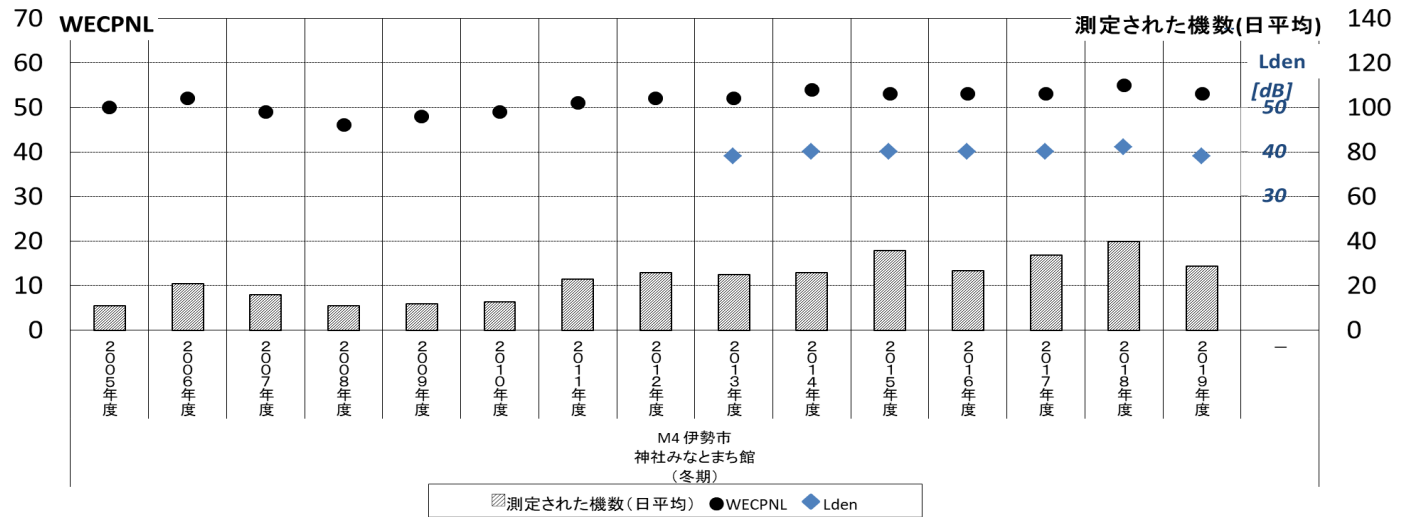
T1 常滑市常滑西小学校



T2 南知多町町民会館



M4 伊勢市神社みなとまち館



参考資料 2

航空機騒音に係る相談件数

① 航空機騒音相談件数の状況

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
愛知県	79	490	448	409	245	297	206	233	263	280	265	250	190	150	105	98
岐阜県	0	1	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	1	2	3
三重県	27	162	93	59	47	31	24	31	27	26	72	88	98	122	153	97
在住不明	0	5	4	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
計	106	658	545	471	295	329	230	264	294	306	337	338	288	273	261	199
累積	106	764	1,309	1,780	2,075	2,404	2,634	2,898	3,192	3,498	3,835	4,173	4,461	4,734	4,995	5,194

※2004年度は2005年2月17日～3月31日。

② 2019年度 相談内容別件数

区 分	主な相談内容等
飛行経路・高度へのお叱り 138件	<ul style="list-style-type: none"> ○いついつに飛んだ飛行機の高度・行き先を知りたい ○陸域を低空で飛ばさいでほしい(海域を飛ばすように。) ○我が家の上空を飛行するな。(低くて脅威だ。) ○飛行経路を知りたい。(飛び方・便数など詳しい内容を知りたい。) ○開港時に比べて飛行経路が守られていないのではないか。(最近、高度が低い)
航空機騒音に対するお叱り 59件	<ul style="list-style-type: none"> ○深夜・早朝の飛行機の音がうるさい。(特に深夜の騒音で眠れない) ○飛行機の音がうるさい。(最近、また気になるようになった。) ○最近、飛行機の通過が増えて、飛行機の音がうるさい。 ○ヘリコプターの音がうるさい。 ○着陸機の到着時の騒音がうるさい。

参考資料 3

中部国際空港に係る環境監視計画

中部国際空港に係る

環 境 監 視 計 画

2016年4月改定

中部国際空港株式会社

目 次

第1章 環境監視についての基本的な考え方	1
1.1 環境監視の目的	1
1.2 環境監視計画の内容等	1
1.3 環境監視の実施	1
1.4 環境監視結果の評価	1
1.5 対策	1
1.6 環境監視結果の公開等	2
第2章 環境影響要因	4
2.1 環境影響要因	4
2.2 場所及び規模	4
2.3 航空機の運航	4
2.4 空港施設概要	4
第3章 環境監視計画	8
3.1 調査	8
3.2 環境監視情報処理システム	12

第1章 環境監視についての基本的な考え方

本計画は、2005年2月17日からの中部国際空港の供用に伴う周辺地域に対する環境影響を把握するため、事業者の責任において自主的に環境監視を実施する内容を定めたものである。

1. 1 環境監視の目的

- (1) 中部国際空港の供用に伴う環境に及ぼす影響を把握し、必要に応じて適切な措置を講じることにより環境の保全を図る。
- (2) 環境監視の結果を広く一般に公開し、事業に対する理解の促進に努める。

1. 2 環境監視計画の内容等

調査項目、調査地点、調査頻度などの環境監視計画の具体的な内容は、事業計画、環境影響評価書の内容及び環境監視結果を踏まえ設定する。

なお、環境監視計画については、必要に応じて見直しを行う。これに当たっては、専門分野の学識経験者及び関係自治体の意見を聴き、事業者が計画内容を定める。

1. 3 環境監視の実施

環境監視については、環境監視計画に基づいて適切に実施する。

環境監視に当たっては、日常的にデータの検討を行うとともに、迅速な環境保全の措置を講じることができる体制の整備を図る。

1. 4 環境監視結果の評価

環境監視結果については、専門分野の学識経験者の公正・中立な評価を受ける。

評価に当たっては、周辺地域に与える影響の程度を環境監視結果を基に行政機関等の一般環境データを参考として、環境基準や周辺地域の経年的な環境変化の傾向等と対比するなど、科学的・客観的に行う。

1. 5 対策

環境監視結果等から何らかの異常があると認められる場合については、関係機関と連携して原因を究明するとともに、事業による環境への影響が認められる場合には、適切な対応を行う。

1. 6 環境監視結果の公開等

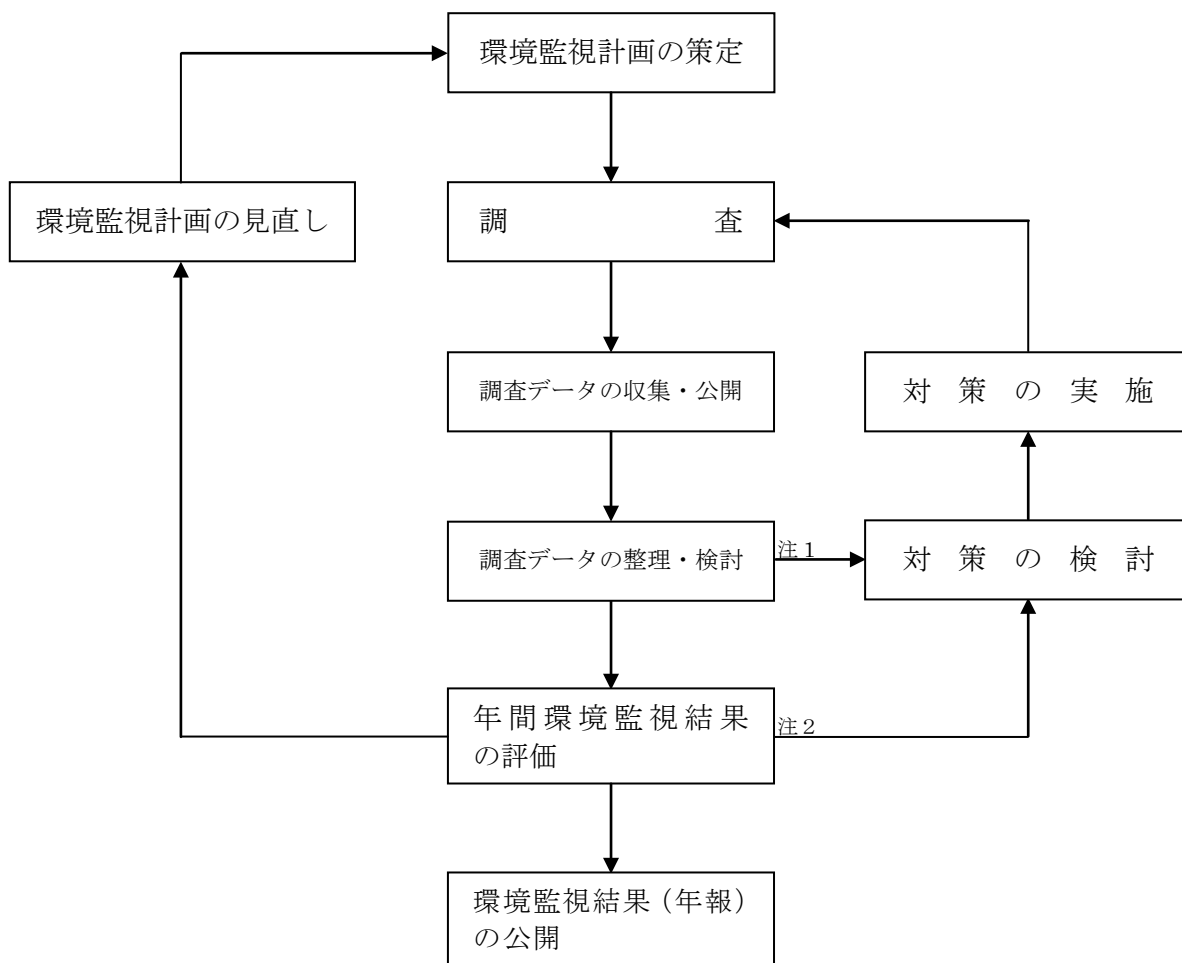
環境監視結果については、情報コーナーやインターネット等を用いて環境監視データの速報及び環境監視の評価結果を一般公開する。

環境監視結果の公開方法は、次のとおりとし、月報、年報については、岐阜・愛知・三重県、名古屋市、関係市町村等に報告する。

<環境監視結果の公開方法>

- ・ セントレア情報コーナーでのパソコン上でデータの公開
- ・ セントレア情報コーナー等での月報及び年報の公開
- ・ インターネットによるデータの公開

また、環境に関する理解や関心を深めていただくため、環境監視に係る調査項目や調査地点などをまとめたリーフレット等を作成する。



注1：日々の調査データを整理・検討した結果から、事業による環境への影響が認められる場合には、適切な対策を講じる。

注2：調査データについて、年間を通して評価された結果から、事業による環境への影響が認められる場合には、適切な対策を講じる。

図1 環境監視の概念図

第2章 環境影響要因

2.1 環境影響要因

空港の供用に係る環境影響要因として、中部国際空港の運用に伴う航空機の運航等がある。

2.2 場所及び規模

(1) 場所 (図2-1参照)

愛知県常滑市セントレアの一部 (空港用地)

(2) 規模

470ha

2.3 航空機の運航

(1) 飛行経路 (図2-2、2-3参照)

(2) 滑走路 1本、3500m

(3) 飛行機材 B737、B767、B787、B777、B747、A320、A330、A340、DH8、CRJ等

(4) 離着陸回数 約9.2万回/年 (2014年度実績)

2.4 空港施設概要

離着陸施設 (滑走路、誘導路、航空保安施設等)

エプロン

航空旅客取扱施設 (国内・国際旅客ターミナルビル、機内食工場等)

航空貨物取扱施設 (国内・国際貨物取扱施設)

管理施設 (庁舎、管制塔、空港管理棟等)

供給処理施設 (航空機給油施設、エネルギー供給施設等)

その他施設 (道路等)

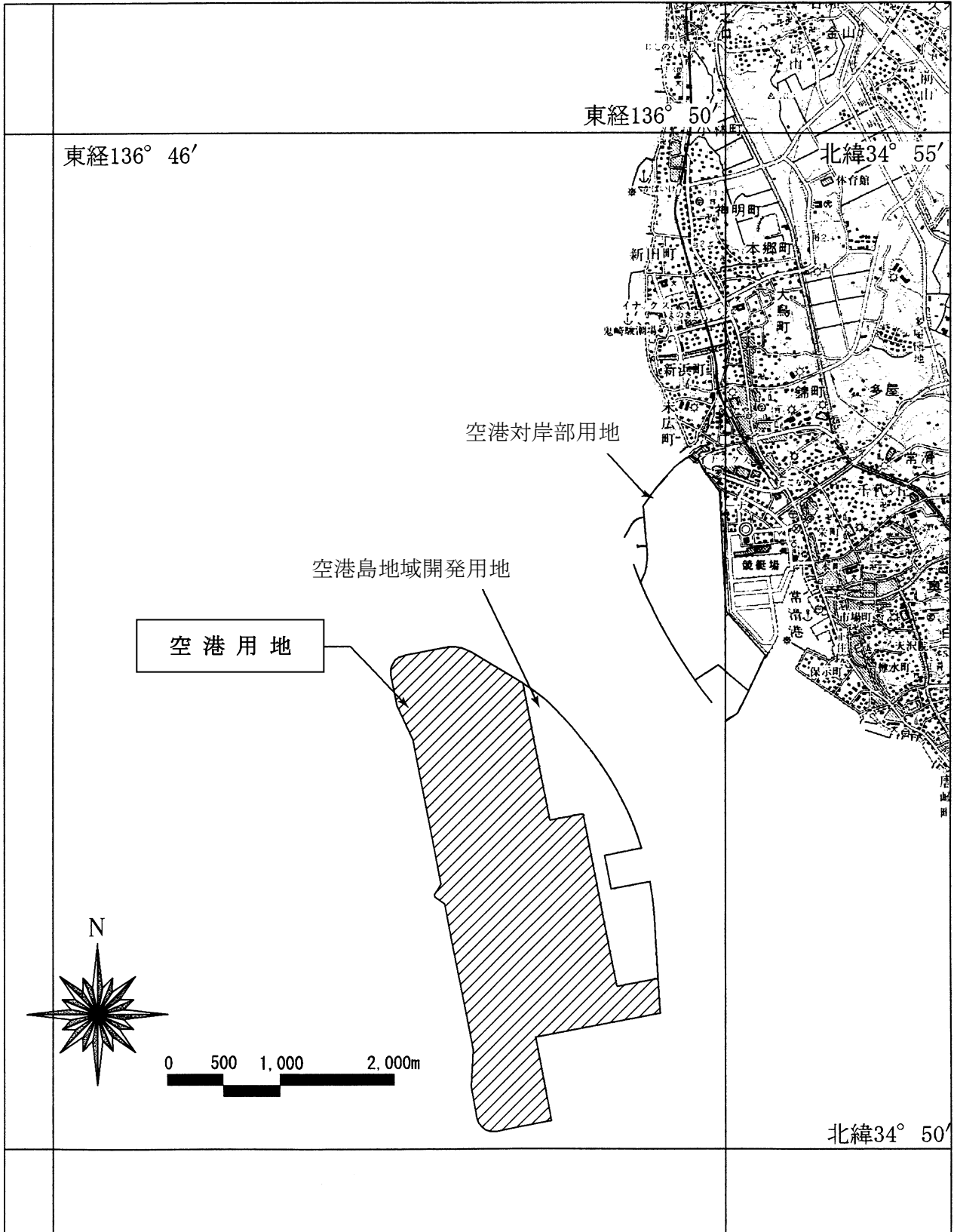
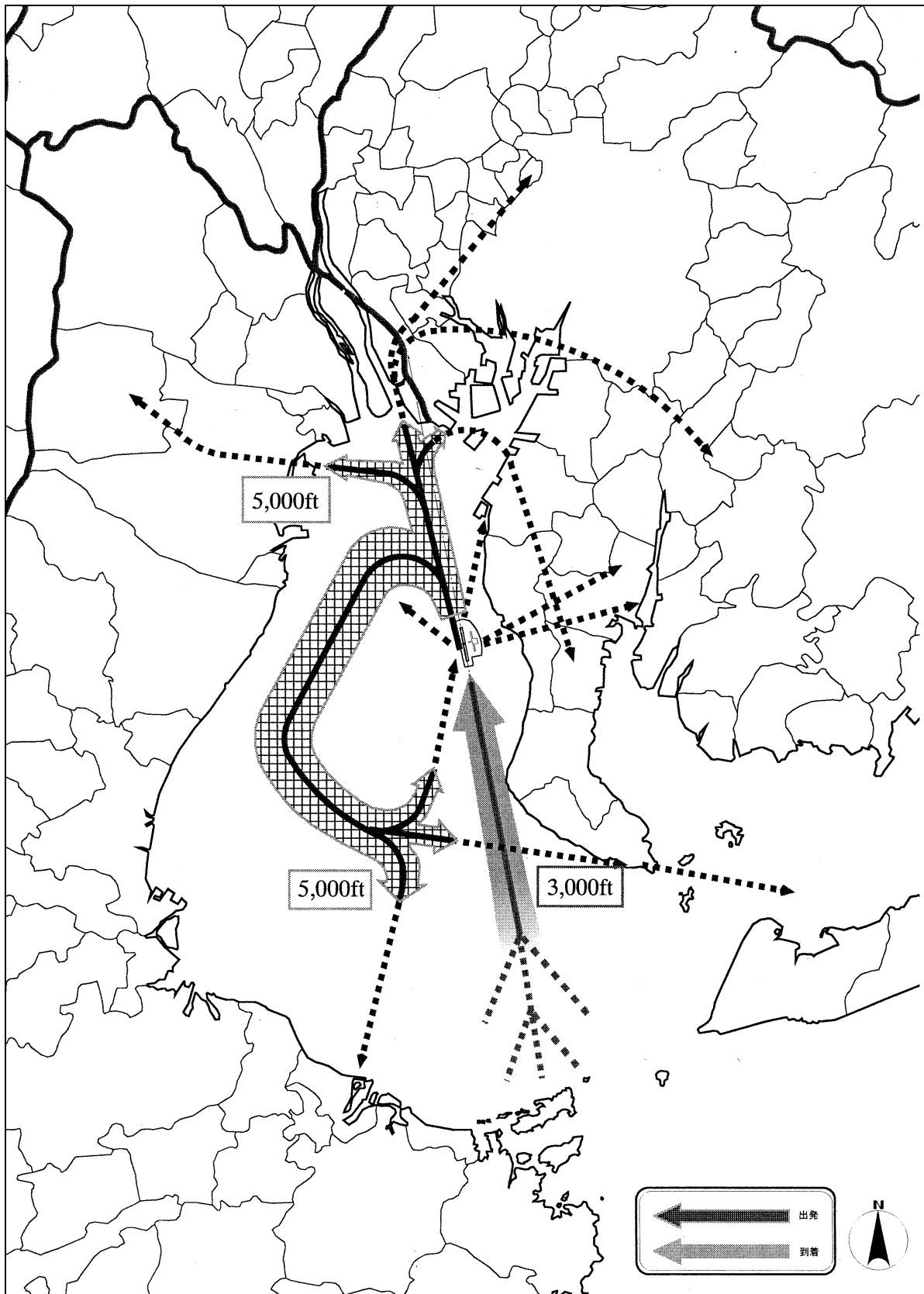
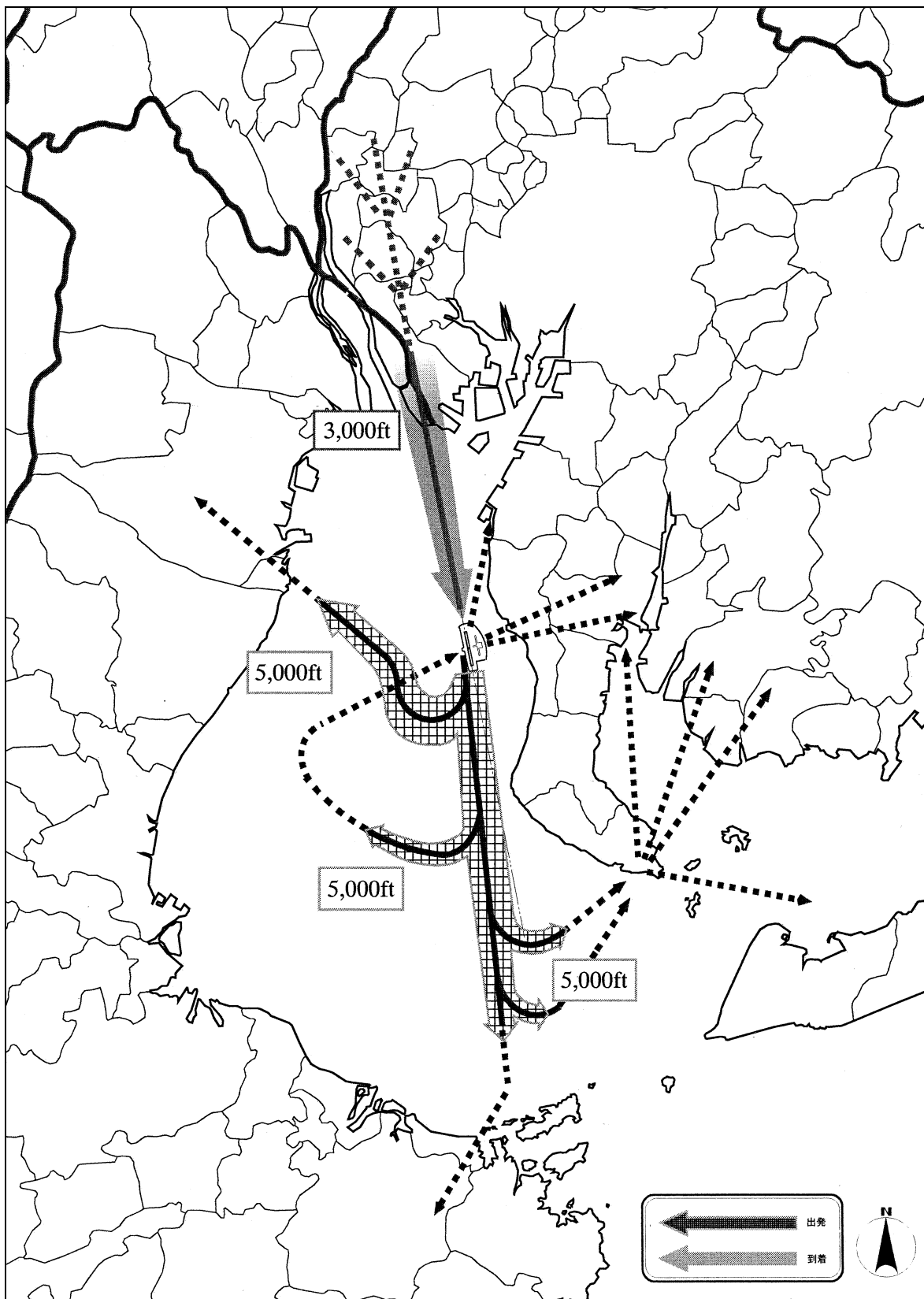


図 2 - 1 場所及び形状



* 出発5000フィート以下・到着3000フィート以下で飛行すると予想される区域

図2-2 飛行経路（北向き運用：6～23時）



* 出発5000フィート以下・到着3000フィート以下で飛行すると予想される区域

図2-3 飛行経路（南向き運用：6～23時）

第3章 環境監視計画

3.1 調査

(1) 調査の考え方

空港の供用が環境に及ぼす影響を適切に把握するため、以下の考え方に基づき調査を実施する。

なお、必要に応じて原因を究明するための調査や周辺環境の基礎情報を収集するための調査を実施する。

ア 調査項目

空港の供用に伴う環境影響、環境影響予測項目、環境監視結果を踏まえ、「騒音」を設定する。

イ 調査地点

地域の環境特性を考慮して、空港の供用による周辺環境への影響の程度が的確に把握できるよう配慮し設定する。

ウ 調査期間

周辺環境への影響の程度を考慮して設定する。

エ 調査頻度・時期

環境質の特性、空港の供用に伴う環境負荷の発生状況に応じ、環境の的確な把握が行えるように設定する。

オ 調査方法

各種法令やJIS等の規定に準拠する。

(2) 調査の内容

調査の内容は次のとおりである。

調査項目			調査地点	調査頻度・時期	調査方法
騒音	航空機騒音	常時監視	図3-1 (4地点)	常時	表3
		定期監視 注	図3-1 (9地点)	夏期7箇所 (T1, A1, A2, A3, M1, M2, M3) 冬期3箇所 (T1, T2, M4)	表3

注 定期監視については、今後の調査結果を踏まえ、見直しを行う。

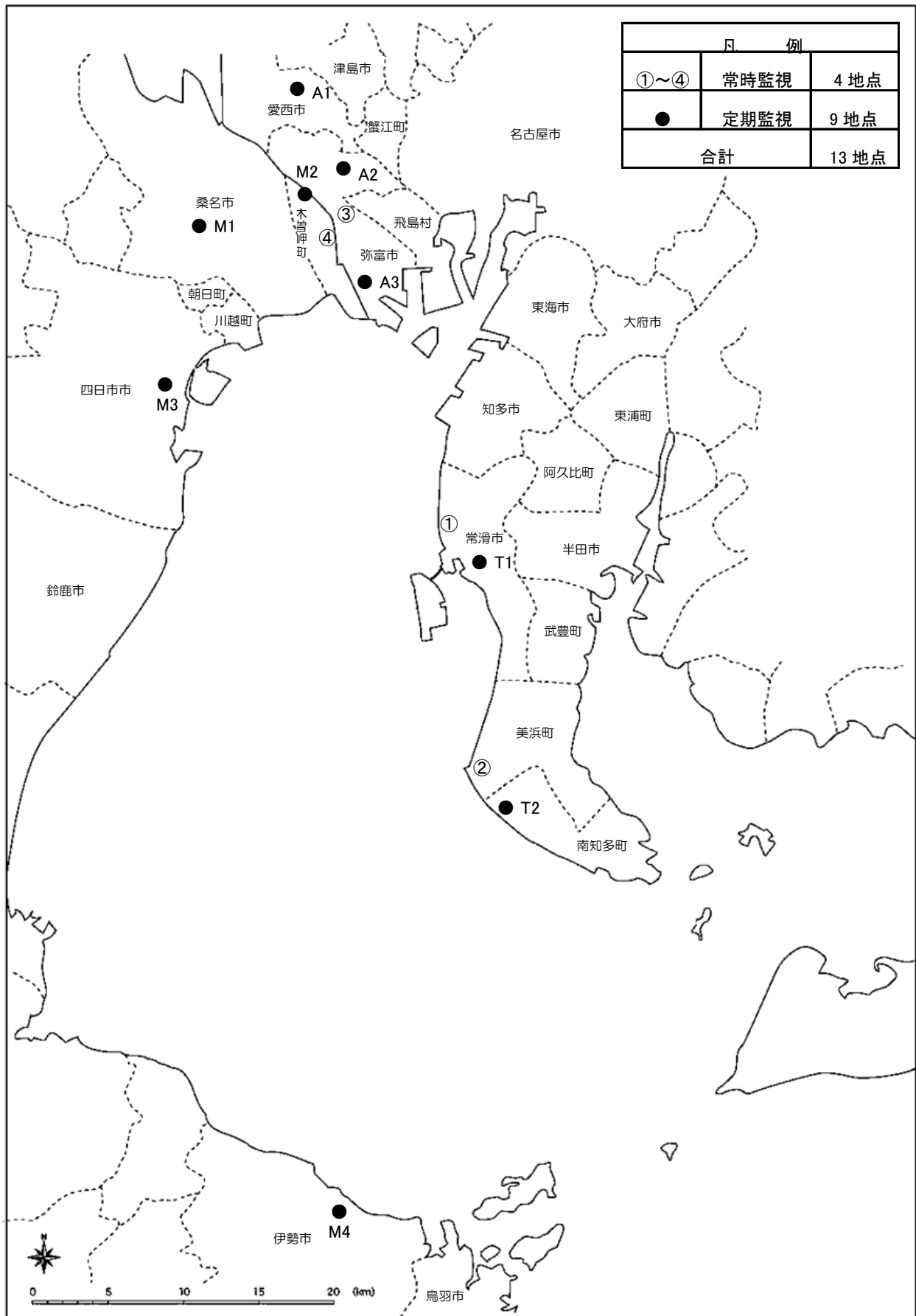


図 3 - 1 航空機騒音の調査地点

<航空機騒音調査地点一覧表>

1 常時監視地点

地 点	場 所
①	常滑市立鬼崎中学校
②	美浜町野間(ちびっこ広場)
③	弥富市立大藤小学校
④	木曾岬町東部公民館

2 定期監視地点

(1) 愛知県知多地区

地 点	場 所	調査時期
T1	常滑市立常滑西小学校	夏期、冬期
T2	南知多町町民会館	冬期

(2) 愛知県海部地区

地 点	場 所	調査時期
A1	愛西市役所	夏期
A2	弥富市立十四山西部小学校	夏期
A3	弥富市鍋田公民館	夏期

(3) 三重県

地 点	場 所	調査時期
M1	桑名市大山田地区市民センター	夏期
M2	木曾岬町農村集落多目的共同利用施設	夏期
M3	四日市市海蔵地区市民センター	夏期
M4	伊勢市神社みなとまち館	冬期

表3 航空機騒音

項 目	調 査 方 法
航空機騒音	「航空機騒音に係る環境基準について」(昭和48年環境庁告示第154号、改正平成19年環境省告示第114号)及び「航空機騒音測定・評価マニュアル」(平成24年11月環境省)に定める方法

3. 2 環境監視情報処理システム

各種調査データの収集・処理を迅速かつ効率的に取り扱うため、テレメータシステム及びコンピュータを用いたデータ処理システムによってデータの収集・処理、管理を行う。

環境監視情報処理システム機能概要図は、図3-2のとおりである。

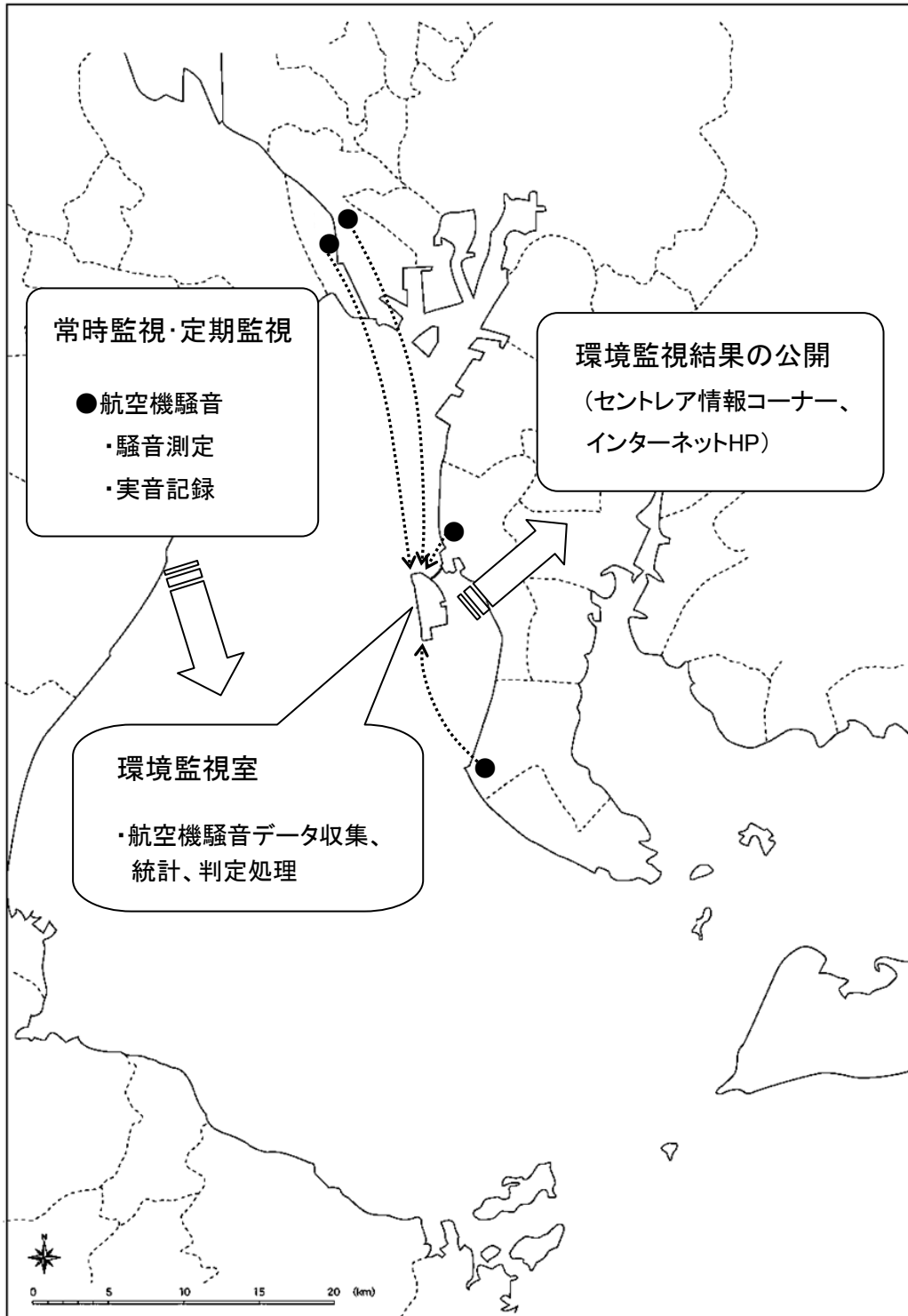


図3-2 環境監視情報処理システム機能概要図